［ 勝ち残る整備事業者のための情報誌 ］

Published by PROTO RIOS

MSR

月刊［エムエスアール］

8月号

メンテナンスショップレポート

令和７年７月５日発行（毎月５日発行）

特集① 地域連携のススメ

特集② 外国人材を採る・育てる

［連載］ ウチでもできた! デジタル集客術
準備運動から本番まで人材を見つめる!
みんながわかる! OBD検査
事例と解説　整備業のための補助金活用講座

人とクルマに優しい
サービスの未来空間を創造

BANZAI

最新型光学式 3D アライメントテスター：キューライン

Q.Lign

型式：BB-QL-SET

測定用カメラが小型軽量化!
ワイヤレスに進化して新登場!!

- センサーヘッドをサイズダウンおよび軽量化したことで、運びやすくなりました。またコンパクトPCとの通信が、無線式のため操作性や収納等の利便性が向上しました
- 新ターゲットクランプ「Q-Grip」を採用することで、ホイールを傷付けることなく簡単にターゲットを取付けることができます
- 従来のWindowsPCからタブレット操作のコンパクトPCに変わったことで、大きなキャビネットを設置せずにアライメント測定が可能になりました

新ターゲットクランプ「Q-Grip」

通過型自動タイヤ溝測定器：イージートレッド

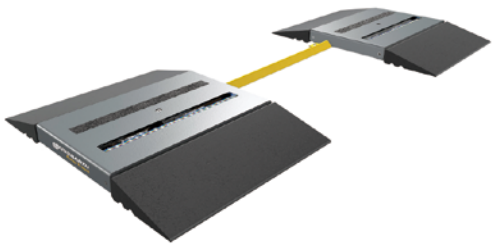
Easy-Tread

【BB-ET-OF（床置き仕様）/BB-ET-UF-SET（埋設設置仕様】

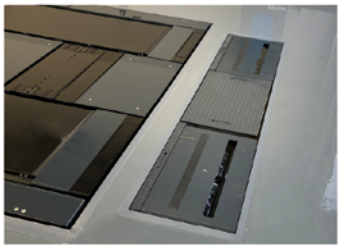
測定ユニット上を通過するだけで、４輪のタイヤ溝を自動計測します。
アライメントやタイヤ販売、ADAS 作業時の提案に最適!!

計測イメージ

- Easy-Tread 床置き仕様
  土間の追加加工工事を最小限に抑えた仕様
- Easy-Tread 埋設設置仕様
  機器設置面をピット床上面と同じレベルに設置する仕様



Easy-Tread 床置き仕様



Easy-Tread 埋設設置仕様

⚠ 安全に関するご注意 -ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。（型式・仕様は予告なく変更することがあります。）

BANZAI 株式会社 バンザイ

■本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19
TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691
https://www.banzai.co.jp E-mail:eigyo@banzai.co.jp

UNESCO NGO JAPAN 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

ISO9001認証取得
ISO14001認証取得

バンザイは SDGs を推進する日本ユネスコ協会連盟の維持会員として支援しています。

【入庫管理】と【ネット予約】を一元化！ 入庫予約管理はこれ一本！

totoco

ネット予約もできるクラウド型入庫管理システム

＼実質50%OFFで導入できる！／

IT導入補助金2025 利用できます！

- 通常枠 1~3 プロセス
- クラウド利用料の 2 年分が補助対象に！
- 補助率：1/2 以内
- 補助額：５万円以上１５０万円未満

・基幹システム連携

BroadLeaf / DIC JPN. / JOCAR / 日本カーネット株式会社 / MotorJim Cosmo R

・各種システム連携可能

LINE連携 / SMS e-mail 送信可能 / CRM機能

株式会社ヤマウチ

〒761-8057
香川県高松市田村町３９７番地

087-867-6868
（平日 9:00 ～ 17:00）

https://totoco.biz

EVとバッテリービジネスのすべて

基礎から最新動向まで

著者：江田健二

定価3,960円（税込・送料込）　B5判オールカラー　192ページ

好評発売中!

主な内容

第１章　EVの基本

1-1　EV発展の歴史
1-2　EVの種類
1-3　ガソリン車との比較
1-4　EVの概要
1-5　モーター ～ 電気自動車の動力源
1-6　パワーエレクトロニクス～電力変換の技術
1-7　パワーコントロールユニット～EVの頭脳

Column 1
異常気象と地球温暖化
～対策行動の促進・阻害要因とSNS分析～
千種ゆり子 （気象予報士・脱炭素キャスター）

第２章　電池・充電器の基本

2-1　電池発展の歴史
2-2　EV電池の概要
2-3　EV電池の種類
2-4　リチウムイオン電池
2-5　充電器の種類と性質
2-6　充電場所
2-7　充電器の設置

第３章　EV最新動向

3-1　市場規模と成長率～世界と日本のEV市場
3-2　政府の方針
3-3　主要メーカーの戦略と動向
3-4　新興EVメーカーの台頭
3-5　EVビジネスキーワード
3-6　自動運転技術の動向

第４章　電池・充電器最新動向

4-1　市場規模と成長率～電池市場
4-2　主要メーカーの戦略と動向
4-3　次世代EV電池
4-4　全固体電池
4-5　充電機器最新動向
4-6　水素ステーションの動向

Column 2
系統用蓄電池ビジネスの新潮流
村谷敬（株式会社AnPrenergy 代表取締役）

第5章　電池のリユース・リサイクル

5-1　リチウムイオン電池の寿命と劣化
5-2　EV用電池リユース・リサイクルの技術、可能性、課題
5-3　各国政府の方針
5-4　リユース・リサイクル事例

第６章　EV関連ビジネスの可能性

6-1　EV化がもたらす新しいビジネス
6-2　充電インフラ関連
6-3　MaaS関連ビジネス
6-4　データ・AI関連
6-5　エネルギー関連
6-6　フィンテック関連
6-7　教育・人材育成

Column 3
モビリティとエネルギーの異種格闘技戦
出馬弘昭（東北電力事業創出部門アドバイザー）

用語解説索引

※掲載内容は編集中のものであり、実際とは異なる場合がございます。

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。

PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

［ホームページ］
https://www.proto-rios.co.jp/

［BSRweb］
https://bsrweb.jp/

■〒541-0046　大阪市中央区平野町2-3-7　TEL.06-6227-5661　FAX.06-6227-5664

［勝ち残る整備事業者のための情報誌］

MSR

月刊メンテナンスショップレポート
令和7年7月5日発行　¥0
8月号

［ 表紙写真 ］
自らの業務の必要性からネット車検予約管理システム「totoco」を生み出したラチェットモンキー（ヤマウチ）。同システムをフル活用するルート32号店の実態は？

Webで閲覧できます
MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。
https://bsrweb.jp/

メンテナンスショップレポート

発行人　小川直紀
編集長　八木正純
編集・制作スタッフ　長谷川明憲、樋口祥三郎
高橋美穂、青山竜
木下慶亮、武井宏樹
古瀬敏之、市井康義
加戸利一
取材協力　泉山大（プロジェクトD）

発行所　株式会社プロトリオス

［東京編集課］
〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3
TEL03-5939-4133　FAX03-5939-4135
［大阪編集課］
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL06-6227-5601　FAX06-6227-5606

印刷所　共立印刷株式会社

CONTENTS

特　集

07　地域連携のススメ

マクロ視点では増加し続けている認証工場だが、ミクロ視点では減少しているエリアも見受けられる。地元に整備難民を生まないために、地域連携を考える。

09 … 主な地域連携の仕組み
10 … 事例 コトモビ
12 … 事例 ロータス TM パートナーズ
13 … 事例 長岡車検センター協業組合
14 … 事例 メカトロクラブ ZENSHIN

15　外国人材を採る・育てる

喫緊の課題、人手不足の解消。より実効性・現実性の高い方策として、外国人材の活かし方を考える。

・アプティグローバル　・ONODERA USER RUN　・KCM
・ダイバーシティマネジメント　・東京経済協同組合
・リネットジャパン

写真ニュース

06　速報　第38回オートサービスショー2025

工場ルポルタージュ

26　ラチェットモンキー ルート32号店（香川県高松市）

情　報

17　OBD 検査 INFORMATION
18　業界ニュースひろい読み
20　情報 BOX
28　新製品情報

連載記事

30　みんながわかる！OBD 検査
寄稿　佐野和昭

32　準備運動（さいよう）から本番（かつやく）まで人材を見つめる！
寄稿　チームエル　關 友信

33　ウチでもできた！ デジタル集客術
寄稿　ヤマウチ　人見いづみ

34　事例と解説　整備業のための補助金活用講座
寄稿　フォーバル　山田健一

※ 業界徒然草、みんなの修理事例は休載いたします。

\ 速報 /

第 38 回オートサービスショー 2025

6月19～21日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で、第38回オートサービスショー 2025が開催された。3日間合計で例年を上回るほどの盛況ぶりだった。ここでは速報として、目立った展示内容をピックアップする。

アルティア

コンピューター式検査システム「Smart VIS」。遠隔ロック仕様のサイドスリップテスターとの組み合わせでコンプライアンス、計測ミス防止は万全

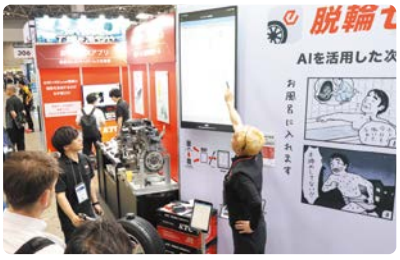
安全自動車

車両を乗り入れてわずか5秒（同社調べ）でホイールアライメントが計測できる「ARGOS」。電子制御装置整備の本格化、省力化にもはや欠かせない機器だ

イヤサカ

ホイールアライメントの計測と、サイドやリヤを含めた360°のエイミングにもこれ1台で対応できる、まさに究極の逸品「ULTIMATE ADAS」を参考出品

京都機械工具



AIを活用したトルク管理システム「e-整備Tire」を参考出品。ナンバープレートを読み込むと、車両ごとの規定トルク値を呼び出し、締め付けたトルク値が自動で記録される

シーカ・ジャパン

新車同様の仕上がり再現が可能なシーリング材「Sikaflex-529 Evolution」をさらに専用塗布ガンで6種類のビードへの打ち分けを実演。高い作業性をアピールした

スピーディ

PPGの自動計量システム「MoonWalk」、カーベンチのボデー修正装置「ムレーナ」、自動塗装ロボット（参考出品）の実機を展示し、鈑金塗装工場の生産性向上を提案

大作商事

完全ワイヤレスによりバッテリー室を開けることなく瞬時にバッテリー診断ができる「DS-X」などバッテリテスターやアナライザー各種を実車を用いて実演し、注目を集めた

ツールプラネット

業界で高まるコンプライアンス対応に応えるアプリ「EAZY Report Plus」と、整備・検査専用診断機に検査専用機をコラボした「TPM-7 OBDplus」をPR

バンザイ

正式販売となった3Dホイールアライメントテスター「Q-Lign」との組み合わせで、360°のエイミングを効率化できる「Q-DAS 360」を参考出品

マックメカニクスツールズ

CEBORAの電子制御溶接機「JAGUAR E 200 MD」を同社の技術者が実演。さらにTEXAの最新エイミング機器「RCCS 3 EVO」を展開し、鈑金から整備まで工場を広く支援

特　集

地域連携のススメ

整備工場数は増加を続ける 市場はこのまま安泰なのか？

少子高齢化が進むことで、結果的に整備工場も減少し、現時点で約8,000万台ある保有車両（保有台数も減少していくだろうが）の整備は充分カバーできるのだろうかという懸念が払拭できない。

とはいえ、その懸念は果たして正しいのだろうか。3月に発行された令和6年度版の自動車整備白書によると、全国の認証工場数（事業場数）は対前年で535事業場（0.6%）増加。3年連続のことである。

一方で業種別に見ると、専業及び兼業工場は全体と同じく増加なのに対し、ディーラー及び自家工場は減少、しかもディーラーは5年連続減少と全体よりも厳しい状況だ。

工場数も大事だが、そこで働く人数も見逃してはいけない。整備関係従業員数は5年連続の増加、整備士を含めた整備要員数も3年連続増加だが、整備士は対前年こそ1,792人増加であるものの、その前までは3年連続で減少。整備要員数に占める整備士の割合（整備士保有率）は4年連続で減少している。

すなわち、日本全国、また整備工場数というマクロ視点で見れば市場は拡大しているかのようだが、整備士数というミ

表　事業場数及び従業員数・整備士数の推移

出典：令和6年度版　自動車整備白書

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業場（認証工場）数	91,605	91,533	91,454	91,711	91,849	92,384
専　　業	56,032	56,156	56,075	56,483	56,620	56,809
兼　　業	15,702	15,498	15,510	15,456	15,554	15,923
ディーラー	16,349	16,315	16,305	16,269	16,173	16,165
自　　家	3,522	3,564	3,564	3,503	3,502	3,487
指定工場数	30,087	30,085	30,083	30,104	30,090	29,932
整備関係従業員数（人）	536,493	539,086	544,670	547,332	554,307	562,869
うち整備士数（人）	336,897	339,593	334,319	331,681	331,255	333,047
整備士保有率（%）	84.4	85.1	83.8	83.0	82.9	82.8

クロ視点で見れば市場は次第に減少傾向にあることが分かる。

実際、日々の取材活動においても、やれあそこの工場が廃業した、そこの工場が倒産したという話を耳にする機会が増えた。

それも、廃業・倒産というと、より過疎化が進んでいるであろう地方（都市）の話でしょ？と思いがちだが、首都圏でもそういった話を聞くことが多くなってきた。

よく日本人は、「マイナスなことは自分の身に起こらない」と考えると言うが、少子高齢化の状況に置かれているのはどこも同じ。地方だからとか首都圏だからとか関係なく、今やどの地域にだって（整備工場の）廃業・倒産は起こり得ることなのだ。

国も整備難民解消に動く 我々にもできる対策は？

こうした状況に政府も手をこまねいているわけではない。直近では6月から訪問特定整備が可能となった。軽作業であれば自宅駐車場でできるようになったし、設備こそ残っているものの、整備士不足から要件を満たせずに休眠している自家工場に整備士が出向いて作業をすることも可能になった（詳細は本誌4月号を参照）。

整備を受けたくとも受けられない、いわゆる「整備難民」を生まないための施策の1つである。ただし、これだけで整備難民を生まないで済むかというと、必ずしもそうとは限らない。

たとえば、整備士を派遣できるということは、その工場に人員的な余裕があるからこそできることであり、逆に自社での作業で手いっぱいという工場であれば、そうした訪問整備に応えることは難しい。

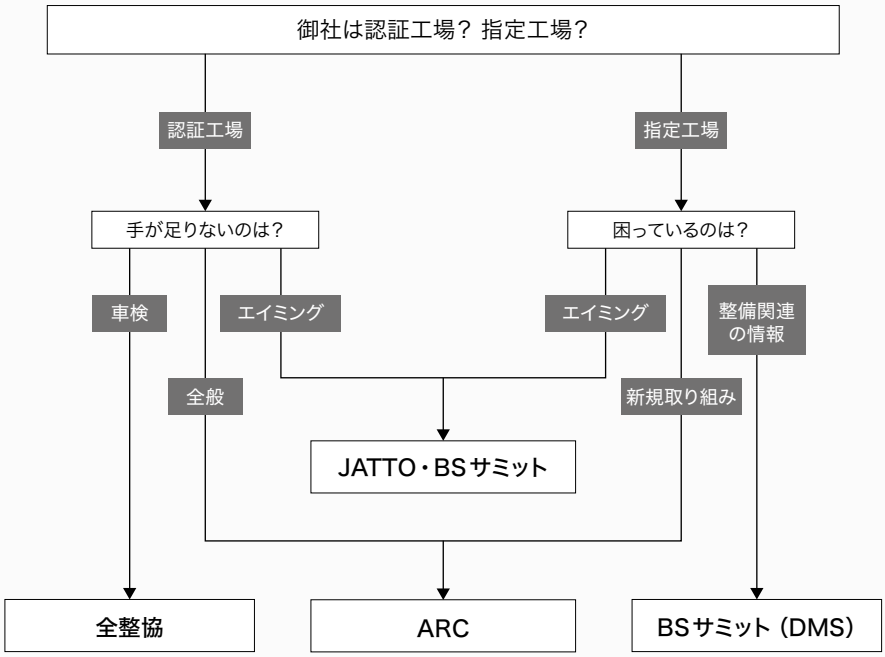
1社で難しいのであれば、今こそ横の連携を見せる時なのではないだろうか。右肩上がりで市場が拡大していた時代は、店（工場）を空けていれば客が勝手に入ってきた。せっかく獲得した客を他に捕られてなるものか、他の工場はライバルという存在だった。

しかし今はそんな時代ではない。地元の安心・安全を守るという広い視点で考えるならば、同じ地域の安心・安全を守る仲間として他の工場と手を取り合っても良い。地域連携が今こそ必要なのである。

一口に地域連携と言っても、様々なやり方がある。時代を反映して、地域連携に関するサービスがすでにいくつか存在している。手っ取り早くはこうしたサービスを利用してみるのも一つの手段である。自社に合うサービスはどれか、フローチャートを参考にしてもらいたい。主要な提携・連携サービスを次ページにて紹介している。

さらに以降のページでは、既存サービスを利用する・しないに関係なく、地域連携事例の数々を紹介する。両者を通じて、自社に合ったやり方が見つかれば、こんなにうれしいことはない。

図1　自社に合った地域連携サービスは？



ARCネットワーク

幅広い地域連携をベースに情報提供

ARCネットワークは環境が激化する自動車アフターマーケットにおいて、各地域の自動車関連事業者が連携し、ネットワークを組むことで個社では乗り越えられない壁を乗り越えようとするのが原点の組織である。加盟する各事業者が自社でできることを洗い出し、タグ付けし企業検索システムに登録。そのタグを頼りに、会員同士が自社と組めそうな会員を見つけ出し、新たなBtoBのビジネスを生み出す。こうした地域連携は電子制御装置に限定しているものではなく、BSサミットとオートバックスの連携も本ネットワークがきっかけで実現したもの。地域連携のみならず、随時更新される整備要領書の更新情報や月2回更新される電子制御装置整備対象車一覧情報、様々な研修（コンプライアンス研修、エイミング研修）の開催など、情報提供も豊富だ。

TEL 03-5422-9446
東京都港区白金1-12-2
https://arc-network.jp/

全整協

地域の整備工場との連携と、福祉機器の紹介やリユースなどを実施

全国自動車整備協業協同組合協議会（全整協）は、地域密着型の整備ネットワークを強化するために、多様な地域連携の取り組みを進めている。

その中心となるのが「準会員制度」の活用だ。これは、各地域にある整備協業組合を“コア”工場と位置づけ、周囲の整備工場との連携を深めることで、先進車両技術への対応力を高め、業務効率の向上と入庫台数の拡大を実現する仕組み。

また、あいおいニッセイ同和損保との連携では、福祉機器の紹介やリユース部品の流通強化といった具体的施策を通じて、地域包括的な価値提供と業界全体の持続可能性に寄与している。

TEL 03-5425-4312
東京都港区芝大門1-1-21
https://zenseikyo.jp/

JATTO（日本技能研修機構）

地域連携と加盟工場保護を両立させ、整備難民を防ぐ

2020年に設立され、先進運転支援システムなどの電子機器の適正な調整・校正を行うための電子制御装置整備全般について幅広く技術・情報提供を行うJATTO。カーオーナーへ安心安全を届けるため全国各地にエイミング作業ができる加盟工場を置き、地域連携に力を入れている。

現在、エイミング作業受注工場として整備工場や鈑金塗装工場など130社が加盟しており、協賛企業19社に加盟する整備工場・鈑金工場など42,000社からのエイミング作業受注を徐々に拡大していく。原則として15km以内に1ヵ所とするなど、幅広い地域連携と加盟工場保護を両立させるため特定の組織には属していない。今後は空白地域協賛企業からのエイミングだけでなく整備全般にも対応することを検討しており、適正な金額で高いクオリティーの技術を提供していく。

TEL　050-1807-4274
東京都港区高輪4-23番6号
https://www.jatto.or.jp/

BSサミット（DMS）

オートバックスと連携し、トータルカーサービスを強化

BSサミットではオートバックスと連携し、地域連携を実現させている。組合工場はオートバックス509店舗（2025年3月時点）からの連絡でロードサービスのほか、タイヤやオイル交換なども請け負っている。組合工場の中にはオートバックス店舗の中にロードサービス拠点を置くなど、対応力を充実させる。石井英幸理事長は「コンプライアンスを重視するオートバックスと当組合が連携することで、カーオーナーに対してより強固なトータルカーサービスを提供できる」と、関係強化に努める。また、全組合員が特定整備認証を取得したことを基盤に、カーメーカーに選ばれる「モビリティドクターの全国ネットワーク」を目指して主に指定整備工場を取り込んでの「DMS」（メーカー・ダイレクト・メンテナンス・ソリューション）の構築に力を入れている。

TEL　03-3538-2900
東京都中央区京橋3-9-4
https://www.bs-summit.jp/

事　例　琴浦モビリティグループ（コトモビ）

琴浦町の整備事業者５社による「ゆるい連携」でつながる「コトモビ」

人口１万5,642人、高齢化率38.9%（2025年５月時点）。鳥取県中部に位置する琴浦町は、過疎化が進む地域である。将来的な整備難民の懸念に加え、整備工場経営にも暗い影を落とす。そこで立ち上がったのが５社の専業整備工場である。「ゆるい連携」を合言葉に、地域連携を実践するコトモビは2025年７月に結成から５年を迎えた。本格的な地域連携を展開する全国でも唯一無二のコトモビが実現してきた成果と現在地を聞いた。

会長　上田 啓悟 氏（左）と事務局　出﨑 隆晟 氏（右）

過疎の町に生まれた整備業の連携、コトモビ

鳥取県のほぼ中央に位置する琴浦町は日本海と大山ふもとの山間部で形成する風光明媚な町である。2004年に東伯町と赤碕町が合併して琴浦町となった。2010年当時、約１万８千人を抱えていた人口は年々減少し、2020年には１万６千人にまで減少した。ディーラーが撤退し、バスが廃止となり、交通インフラが脆弱になるとともに将来的な整備難民が出てくる懸念を、赤碕ダイハツの上田啓悟社長は、2010年代初頭より懸念していたという。また、いずれ団塊の世代が後期高齢者となり、「免許返納が増えていった時、町の人口と免許人口の減少は加速するだろう」と上田社長は予測した。

市場の縮小、交通インフラの衰退、自動車整備事業者の事業継続といった諸問題に対し、上田社長が出した答えは同業者による連携の道であった。しかしながら、連携の組織作りは簡単ではなかった。整備工場の団体やFCではなく、協同組合や協業組合でもない。このような新たなグループの形は整備業界に前例がなかった。気の合う同業の仲間を集め、連携の構想を語ったがその趣旨を理解してもらうために、相当に長い時間をかけたという。

地域に移住した若者がコトモビ推進の原動力に

「会社を乗っ取ろうとしているのでは？」という勘ぐりの声もあったという連携づくりの過程で、１つの転機になったのが、出﨑隆晟氏の入社である。広島の大学在学中の出﨑氏が、赤碕ダイハツで展開する格安のレンタカーでコペンを借りるため、琴浦町を訪問。町の人々との温かい交流に魅了され、大学卒業の翌月赤碕ダイハツに入社した。

「移住を決意したきっかけは、琴浦の人の温かさと優しさ」と出﨑氏。上田社長はその出﨑氏に地域連携アライアンスの事務局を担当してもらうことで、組織作りを急展開させた。

「事務局を作り、連絡事項についてワンクッション置くことで運営は円滑になった」（上田社長）という。また、コロナ禍の只中にあり、スタッフのウイルス感染で出社できない人材が社会問題になったことも連携の組織化を後押しした。こうして琴浦モビリティグループ、略称コトモビは2020年７月に正式に発足した。参加企業は赤碕ダイハツを中心に赤碕ホンダ販売、なにわ自動車、くらみつ自動車工業、そしてながれ自動車販売の５社で構成。事務局は既述の通り、赤碕ダイハツの出﨑氏が担当し、コトモビの会長に上田社長が就任した。「ゆるい連携」を合言葉にコトモビがスタートする。

協力・共有・分担が新たな自動車整備を切り拓く

コトモビの理念は「協力・共有・分担」である。５社の休日をずらすことで、グループ内の店舗が必ず開いている体制を整えた。ロードサービスも含めて、自社が休みでもユーザーに安心していただくのが狙いである。とりわけ、日曜日の業務を各社当番制にしたことで、ユーザーの安心への配慮だけでなく、各社社員が日曜日に休めるようにもなった。

また片道１時間かかる鳥取市内の運輸支局に出向く業務を定期便として一本化することで、時間とコストを大幅に削減した。この他、新車、中古車の車両販売の在庫共有、タイヤなどの仕入れ共有化で、安価な仕切りで連携パートナーに展開することも可能になっている。

さらには既述した感染症リスクにとどまらず、近年多発する災害リスクにも備えられるため事業者側、そしてユーザーにとっても安心が増したことは大きい。そうしたバックアップ体制に加え、人的、整備機器の共有など、連携は様々な方面に拡大している。

後継者問題から若手のつながりまで 地域連携の化学変化

エイミングとガラス交換という電子制御装置整備はなにわ自動車が担当する。同社は浪花社長が起業し、個人で業務を担ってきたが、コトモビをきっかけに娘婿が入社、自動車ガラスの技術を習得し、新たな体制が整いつつある。これにより後継者問題も解消した。元々、琴浦町に自動車ガラス事業者がなかったため、今ではコトモビ以外でも自動車ガラス業務を受注し、業容を拡大させている。アライメントテスターをはじめ、エイミングの機器、自動車ガラスに関連する機材は補助金を利用して調達した。補助金申請のスペシャリストとの評価が高いながれ自動車社長がアドバイスを送り、補助金採択にこぎつけた。

上田社長は「コトモビのメリットは協力・共有・分担だが、それ以上に目に見えない効果が出てきている。後継者ができた会社をはじめ、連携する５社の若手社員が自然発生的につながって、結束を強めている」と、当初予想しなかった様々な化学変化が起きており、グループを活気づけているという。「コトモビ」発足当初から掲げてきた、仕事を楽しむというコトモビの趣旨が実践されている証である。

「我々には５年かけて作り上げてきた連携のアドバンテージがあり、これまでの整備業界では誰も見たことのない景色を見ていると自負している。今後、人口減少はさらに進むと考えられるし、また災害リスクも高まるだろう。切羽詰まった状況で、連携をスタートさせるのではもう遅い。連携の形は自由で、２社だけでもいい。連携が生む地域の活性化で、新たな人材を地域に呼び込むことができる。地域連携における真のメリットはそこにある。そして連携を成功させるにはゆるいつながりが重要だ」（上田社長）。

赤碕ダイハツ

赤碕ホンダ販売

なにわ自動車

くらみつ自動車

ながれ自動車販売

定期的に配布する「コトモビ」のチラシ。５社の社長を似顔絵にした作りと分かりやすい内容が地域の共感を集めた

コトモビの具体的活動として折り込みチラシやTVCMなどで広報活動を展開。そのコストのみ、各社で負担する按分制でグループが運営されている。会費などは設けず、あくまでもゆるい連携が基本線。それがグループの発足から、今日に至るまで持続可能なグループ活動の原動力となっている。近年は協力企業のリサイクル業者に廃車を提供するリターンとして１台につき1,000円を受けることでグループ運営の資金に充てている。チラシには各社社長のプロフィールなどをイラストで分かりやすく掲載。これまであまり知られていなかった自動車屋さんを身近な存在に変えた。また、「コトモビ」というキャッチーな名称の効果も含めて、地域のモビリティ全般を請け負うグループとして年々知名度も上がっている。

KotOura MObility

事　例　**ロータスTMパートナーズ**（石川県七尾市）

大規模災害にも負けない整備工場の地域連携の必要性

地域連携のモデルケースとでも言うべき、2018年4月に設立された能登地区の全日本ロータス同友会加盟工場6社の共同店舗となるロータスTMパートナーズ（高野憲治社長＝北日本自動車）。能登半島を襲った巨大地震に対し、整備工場の地域連携はどのように活かされたのか。理事を務めるエース自動車・谷内政則社長に話を聞いた。また、TMコーポレーション・室谷眞一社長（＝辰口自動車販売）に、整備工場の地域連携の必要性をたずねた。

エース自動車 **谷内 政則** 社長

地震をきっかけに結束が強まった能登地区6社連携事業

石川県能登地区のロータス加盟工場6社が共同運営する店舗として、2018年4月にオープンしたロータスTMパートナーズ。24時間365日営業ではないが、TMコーポレーションの事業モデルである保険を中心にしたトータルカーサービスを展開しており、加えてセルフ式ガソリンスタンドを併設し、ここを起点に新たな集客も図る。

ガバナンスを整え、運営会社6社からスタッフを出向させるなど、どこよりも早く整備工場の地域連携に取り組んできた。だが、2024年1月1日に発生した能登半島地震が様相を一変させる。

同店及び運営会社6社は、幸いにも地震による甚大な被害は避けられ、事業を継続できている。しかし、地震をきっかけに能登の地を離れていく住民が後を絶たず、「地震発生前後で人口が15～20%減少した。加えて高齢化も進んでおり、人材不足が深刻な問題となっている」（谷内氏）。それは各社のスタッフも同様で、数人がやむを得ない事情で会社を去っていった。

だが、この地震を機に運営会社6社の結束は強まった。これまで車検・整備は各社で対応するケースが目立ったが、人手不足により各社は受け付けだけを行い、車両を同店に持ち込むオペレーションを採用。現在、月間約30台を同店で処理する。「これまで共同店舗を充分に活かしきれていなかったのは否めないが、ようやく発足当初に描いていた協業体制の姿が形になりつつある」。

地震発生から1年半が経過したが、いまだ復興は道半ば。だからこそ、6社が手を取り合うことで地域生活を支え、能登地区の復興を後押しする。

地域連携の成否はガバナンスの構築

能登地区の6社連携を推進し、同店の取締役にも名前を連ねる室谷眞一社長は、整備工場の地域連携の必要性を訴える。「もはや1社で生き残れる時代ではなくなった。個社ごとの強みと弱みを補い合い、地域住民の生活を支える整備工場間の連携が不可欠だろう」。

その成否の鍵を握るのはガバナンスの構築。「自社のスタッフを共同店舗に出向させるのは、口で言うほど簡単ではない」。出向したスタッフに不利益が生じないように、各社各様だった給与は一番高い会社をベースに基準を設け、また勤務形態や通勤時間の変更なども考慮した就業規則を策定した。また資産となる設備機器は、設備ごとに各社が負担する形を採用した。「同業者だからこそガバナンスが最も大事。またパワーバランスも重要で、決して元請け・下請けの関係性ではないことを理解してほしい」と強調する。

能登半島地震を経験し、「大規模災害は廃業のトリガーになり得る」。特に、少子高齢化が進む地方こそ万が一に備え、早期に地域連携のスキームを整える必要があるだろう。

ロータスTMパートナーズ外観

事　例　**長岡車検センター協業組合**（新潟県長岡市）

車検業務を集約・特化
組合工場の車検受け付けを後押し

車検業務は特定整備認証制度の開始により、エイミング機器をはじめ各種機材、作業場など必須条件が増加。今後のさらなる法改正を見据えた継続的な設備投資が必要であり、個社での業務の持続が年々難しくなっている。早くから地域の組合工場車検業務の集約をしている長岡車検センター協業組合の取り組みから地域工場の協業体制の在り方を追っていく。

専務理事　**樋口 裕之** 氏

組合工場から車検業務を集約&特化

長岡車検センター協業組合は1981年に設立、今年で44年目を迎える。現在は15社の各工場が加盟。各工場から車検車両を集約して受け入れており、月間処理台数は500台を超える。「車検業務は法制度の改正に合わせた設備投資が不可欠で、個社にとってはその都度大きな出費になる」（樋口裕之専務理事）。実際、特定整備認証制度が開始され、諸条件が整わず車検を受け付けられなくなった工場も多い。「加えて既存の機材の定期的なメンテナンスや買い替えが必要になる。体力のない工場から廃業していくという現実がある」。同センターはそうした地域の声を受けて設立、各工場からの出資により、車両を集約することで安定した入庫と最新設備の導入による作業品質の向上を実現する。

予約管理と車両状況の共有で高効率化

同センターを車検業務に特化することで処理台数を増やし、一般的な価格帯より安価に車検サービスを提供している。「センターで車検業務に特化して受け入れることで、組合工場は整備業務に専念できる。お互いの業務効率化につながっている」。

入庫予約は組合工場とGoogleスプレッドシートで共有され、年度内の予約状況を確認できる。さらに完成車両は各工場専用のレーンで区切られた車両置き場にあり、その様子をライブ配信。組合工場はリアルタイムで車両状況を確認できる。「今年度からの受検可能期間の拡大を受けて、こうした予約管理は重要性を増していく。作業進捗を各工場が把握できるので引き取りの手間も少ない」。代車もセンターで用意が可能と組合工場の車検受け付けを包括的に支援する。また工場内に地域の部品商社と提携した常在部品庫があり、作業のレスポンスを高めている。

個に勝る、協業という数の力

高効率な車検システムを構築している同センター。「センターの運営が続けられるのは地域のカーオーナーの信頼を獲得する個々の組合工場の力が合わさってこそだ。カーオーナー、組合工場からの信頼に報いるため、設備投資と技術、高効率化で応じる」と樋口専務は話す。合同出資の強みを活かし設備の刷新による作業品質の向上を図っている。「大手に対抗するためには個社ほど地域間の同業者と情報交換し、協力関係を作ることが大事だ。協業のシステムまで構築できれば、大手に勝る地域の良さを発揮できる」。

同組合工場の外観

場内の様子。吊り下げレーンは現在稼働していないが、常に最新設備を導入してきた証左だ

サイドスリップテスターをはじめ、最新の検査機器が取り揃えられている

事　例　メカトロクラブ ZENSHIN

整備技術力と組織力を両輪として大阪の整備業界を盛り上げていく

自動車整備技術だけでなく、組織力も備えたエキスパート集団を目指すメカトロクラブZENSHIN（中原智会長）。1995年にアサダ自動車商会・浅田純一社長（現同会・副会長）が前身となる団体を発足させたが、一度は活動を休止。その後、大阪自動車青年会議所で会長を務め、組織論に精通した中原氏を2021年に会長として迎え、現在のメカトロクラブZENSHINとして再スタートを切った。2025年で5年目を迎える中原会長に聞いた。

中原 智 会長
メカトロクラブ ZENSHIN

団体として質を維持しながら波及を目指す

1995年に前身団体を設立した背景には、同年の道路運送車両法改正により前車検・後整備が可能となり、事業者ごとの整備品質の差に対する危機感があったと言う。そのため、浅田氏の持つ電子制御装置機器などの整備技術を中心に、故障原因を追求しながらの技術力向上を目指した。ところが、団体組織としてのまとまりは徐々に薄れてしまう。

この反省を活かし、2021年に再結成した際には、会則を設け会費制の団体とした。「お金を払ってでも整備技術などの情報を取得したい、意欲的な事業者だけを対象に活動している」（中原会長）。また、総会を定期開催し活動内容を議案を通じて明確化することで、各事業者が会員意識を高める取り組みも行っている。

現在の会員数は17社であるが、会員拡大を急ぐつもりはないと言う。「会員の整備技術力、フロント対応力、経営力を底上げし、高い質を保ちながら足並みを揃えることを優先したい」。大阪府近隣の事業者を含めた組織として活動しているが、将来的には大阪府内に各支部を設け、既存メンバーが各ブロックの主軸となることで活動規模を広げる予定。これにより、大阪地域全体の整備技術力の向上につなげていく。

技術の根幹を学び真のプロフェッショナルに

組織作りだけでなく、高度化する整備技術への対応にもさらに注力している。都市部の整備事業者は、「技術で修理しているのではなく、アッセンブリー交換（チェンジニア）が多いと言われる現状を変えたかった」。地方と比較してより顕著となるこの傾向だが、メカトロクラブZENSHINでは、なぜ部品が潰れているのかを考え、対応する技術を学び直すことに主眼を置く。故障個所に対しアッセンブリー交換だけを顧客に勧めるのではなく、故障診断の原因を把握し、適切な説明と金銭的負担を減らす修理を提案できる修理工場を多く作っていくことが同団体の目標でもある。

講習は、毎月第1土曜日に座学と実習を交えて実施している。EV整備に備えるだけでなく、ウィンドウリペアやデントリペア、協定の仕組みなど、車体修理に関わるアフターマーケット全体の見識を高められるようカリキュラムが組まれている。「適正な技術を適正な価格で提供するのが望ましい。そのためのものさしを、他社と関わることで多角的な視点を持ちつつ、作り上げていきたい」。

総会風景

中原智会長（前列左から3人目）、浅田純一副会長（前列右から2人目）と会員事業者

特集

外国人材を採る・育てる

自動車という現物があるだけに、リモート対応が難しい自動車整備業界。人手不足は業務、ひいては事業の存続に直結していると言っても過言ではない。より工場運営がしやすいようにと整備士に関する要件緩和の検討も進んでいると聞くが、目の前の入庫車両は待ってくれない。より実効性の高い方策として、外国人の採用及び教育を検討する時が迫っている。

整備経験のある若手のインドネシア特定技能人材を採用できる

アプティグローバル »

TEL. 03-6693-9774（担当：北川） E-mail GLOBAL@UPTY.JP

アプティグローバルの提供する外国人材紹介・採用サービスはインドネシアに特化。他の紹介サービスではあまり耳なじみがないかもしれないが、もともと日本に対するリスペクトが高く、右ハンドル車の左側通行など、交通ルール的にも日本になじみやすい素養を持つ、今注目度の高いエリアだ。

同サービスで紹介するのは現地の整備専門学校を修了した、18～20歳の若者で、その多くは実務経験があり、日本語も日常会話をゆっくり話せる日本語能力試験N3程度の能力を持つ。また、外国人採用で悩みの種である離脱・行方不明の恐れもない、日本で5年以上働きたい意志を持っている（ことを見極めて内定を出す）。

技術レベルも、現地専門学校（政府指定のハイクラス校）から厳選されて卒業前に政府発行の、日本の3級整備士相当の資格を取得した人材ばかり。具体的にはドラムブレーキの分解・組み立てを30分以内にでき、法定12ヵ月点検を40分前後でできる。

さらに、卒業後にも政府直轄のトレーニングセンターで、日本製の設備を使って、現地の研修プログラム及び日本のディーラー技術を習得した技術トレーナーが再教育を行うため、技術的な心配もない。募集から採用、入社後の管理まで同社が一貫してサポート。

現地無償教育から就労後の生活支援まで自社単独で対応可能な体制を構築

ONODERA USER RUN »

TEL. 03-5220-8588 https://onodera-user-run.co.jp/
問い合わせフォーム https://onodera-user-run.co.jp/inquiry/

ONODERA USER RUNは、自動車整備のほか、航空、介護など各分野において、「特定技能外国人」に特化し、紹介及び就労開始後の支援などを行う。

同社はフィリピン、ミャンマー、インドネシア、ラオスの各国で教育施設を運営しており、日本での就労を希望する外国人に対し、現地での基礎教育～来日準備教育、就労開始後の教育支援まで、総合的な教育の提供が可能である。また、同教育施設における無償教育によって質の高い人材を確保・育成し、日本での就労支援、その後の生活支援まで、外部へ委託することなく対応が可能な独自スキーム「OURストレートスルー」を構築している。登録支援機関として、特定技能外国人が安全かつ安心して国内で就労できる環境を提供するとともに、採用企業における入国前、入国時、入職後の書類申請や住居手配などの業務をサポートし、負担を軽減することで、人材の定着を支援する。

自動車整備関連専門商社としての知見を活かして工場をサポート

KCM協同組合/スピーディ » TEL. 03-3654-3221 https://speedy-tool.co.jp/

KCM協同組合は1957年に浦澤商店として創業し、自動車整備関連専門商社として鈑金塗装業界を牽引してきたスピーディグループが運営する監理団体。日本での技能実習を希望する学生に向けた日本語学校を運営しているベトナムの送り出し機関・ティンドー国際人材と提携し、自動車整備・鈑金塗装工場における技能実習生の受け入れをサポートしている。

同組合にはベトナム人スタッフが所属しており、受け入れ先企業の監査時には実習生の意見の聞き取りや、工場側の要望の伝達など、両社の橋渡しを果たしている。また、長年鈑金塗装業界を支援してきたスピーディの知見から、工場が実習生を受け入れる際のアドバイスを受けることができるのも、KCM協同組合の大きな魅力である。

また、特定技能外国人の受け入れに関しては、スピーディが登録支援機関として、外国人技術者及び事業者をサポートする。

日本語レベルの高い人材を育てる外国人材マネジメントサービス

ダイバーシティマネジメント » TEL. 090-7599-7371（担当：野崎） E-mail diversity2020@outlook.jp

ダイバーシティマネジメントはミャンマーから受け入れる外国人技能実習生と整備工場に対して、週1回の日本語教育、生活の困りごとに関する相談、受け入れ工場の育成計画までトータルでサポートする。また、登録支援機関として特定技能への移行後も支援する。

特に、強みは徹底した日本語教育で、日報のやりとりやオンラインでのマンツーマン指導を通じ、特定技能への移行の目安となる日本語能力試験N4を上回るN3またはN2の語学を技能実習生の間に習得する。そのため、語学レベルの高い人材が育成でき、通常業務において日本語で円滑なコミュニケーションが図れる。

また、日本語で問題なく技術指導できることから整備技術の習得も早く、車検・整備だけにとどまらず、幅広い業務スキルが身に付けられる。その結果、講習会に通うことなく、検定試験のみの受験で自動車整備士3級合格者を輩出している。

ベトナム国防省運営の自動車整備学校の生徒で受け入れもスムーズに

東京経済協同組合 » TEL. 090-3042-8780（担当：石川）

ベトナムを中心とした技能実習生の監理団体である東京経済協同組合は、建築、農業、介護など幅広い業種対応をしている。自動車整備では特に鈑金塗装業に力を入れており自動車関連団体及び企業と連携し、自動車整備・修理工場への受け入れを支援している。実習生はベトナム国防省が運営する自動車整備学校の生徒で、すでに兵役を終えており、団体行動や上下関係の常識を備えている。また、現地校にて半年間日本語を勉強し、日本語能力試験N5～4程度の能力で来日するため、言葉の壁も低い。同組合は受け入れ企業、実習生の双方からていねいに話を聞き、スムーズな実習運営をサポートしている。

これまで自動車整備業種では約150人以上の実績を誇る。また2割近くが最長5年まで滞在できる特定技能1号に切り替えており、そのうち2人は在留期間に制限がない特定技能2号の資格を取得するなど、優良な人材を斡旋している。

自動車補修、整備に対応した海外及び国内の育成プログラムを整える

リネットジャパングループ 海外HR事業部 » 送出し機関＋監理団体／登録支援機関

リネットジャパングループ（本社：愛知県名古屋市）の海外HR事業部では、日本語教育・技能講習などのトレーニングを担うカンボジア政府認定の送出し機関「リネットカンボジアHR」、技能実習生の日本での職業紹介や受け入れを扱う「ジャパンアライアンス協同組合」を運営。育成から送り出し、受け入れまでを一貫して管理する。

また、カンボジア政府機関である労働職業訓練省と提携した専門性の高い「職業訓練プログラム」を用意。整備・鈑金塗装、溶接の技能講習は日本の現場に通用する実践的な水準で、講師陣には日本での就業経験がある技術者を揃える。

実習生が働き始めた後のアフターフォロー体制も整えており、人材育成や会社とのマッチングに最大限の注意を払う。オンラインでの日本語講習や面談を通じてメンタル面も支援。定期的な工場訪問も実施し、現場になじめているかなどの確認をする。

名古屋本社（西日本エリア）
TEL：052-589-2292（担当：久高・ルッティー）

東京支社（東日本エリア）
TEL：03-5797-8665（担当：劉・村脇）

OBD検査 *INFORMATION*

OBD検査に関する様々な情報をお伝えします

OBD検査対象型式一覧（2025年8月1日～8月31日）

2025年8月1日から8月31日までに検査対象となる車両の一覧です。

	車名	型式	通称名	種別等	OBD検査開始日
531	トヨタ	6AA-AZSH36W	クラウン	普通・乗用	2025年8月2日
532	トヨタ	6LA-GRG75	センチュリー	普通・乗用	2025年8月23日
533	マツダ	5AA-DMEJ3R	MAZDA　CX－30	普通・乗用	2025年8月23日
534	マツダ	3DA-DM8R	MAZDA　CX－30	普通・乗用	2025年8月23日
535	いすゞ	2PG-CYY77DU	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
536	いすゞ	2KG-CYY77DUV	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
537	いすゞ	2DG-CYY77DUV	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
538	いすゞ	2RG-CVR77DF	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
539	いすゞ	2PG-CVR77DF	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
540	いすゞ	2KG-CYJ77DW	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
541	いすゞ	2DG-CYJ77DW	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
542	いすゞ	2KG-CYJ77DAW	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日
543	いすゞ	2DG-CYJ77DAW	ギガ	普通・貨物	2025年8月23日

出典：OBD検査ポータル（https://www.obd.naltec.go.jp/）

※ OBD検査開始日が到来しても、
初度登録年月または初検査年月から10ヵ月経過していない場合にはOBD検査の実施は不要

過去の検査開始済み車両については→**OBD検査ポータル**（https://www.obd.naltec.go.jp）

業界ニュース ひろい読み

2025年5月16日～6月15日の

今知っておくべき業界ニュースを一気に読む！

PICK UP NEWS▸ 企業

日産サクラがEV販売台数で3年連続1位を獲得

日刊油業報知（HELLO） 5月26日

日産自動車は自社の軽EV「サクラ」が2024年度の販売台数で2万832台となり、22年度、23年度に続き3年連続で電気自動車販売台数第1位を獲得したと発表した。「洗練されたデザインに加え、小回りが利く軽自動車ならではの特性や、EVの特徴である静かでスムーズな加速を実現。求めやすい車両価格やランニングコストに加え、日常使いに十分な航続距離を持ち、運転をサポートする先進技術を備えたことがお客様に評価された」としている。

PICK UP NEWS▸ マーケット

中古車販売店の倒産が前年比1.4倍 13年ぶりの高水準

日刊油業報知（HELLO） 5月16日

東京商工リサーチは先頃、2024年度の「中古車販売店倒産動向」を発表した。倒産件数は98件で前年度から約1.4倍に増え、11年度の104件に次ぐ13年ぶりの高水準となった。倒産原因の最多は「販売不振」の81件。「同業との競合に加え、仕入れ価格が高騰し、その余波を小・零細販売店が被って、市場から退出を迫られた。新車・中古車価格の上昇、国内人口の減少なども視野に入れることが必要で、中古車販売店は正念場を迎えている」と指摘している。

PICK UP NEWS▸ 行政・団体

自動車安全性能2024 ファイブスター大賞はクラウンセダン

国土交通省 5月27日

国土交通省とナスバが2024年度に行った自動車アセスメントで全6車種を評価し、うち4車種が最高評価に当たる「ファイブスター賞」に輝いた。さらにその中でもトヨタ・クラウンセダンは、歩行者との万が一の衝突時に備えた歩行者傷害軽減ボデー構造やポップアップフードの採用により歩行者頭部保護試験等で2024年度の最高得点を記録するなど優れた成績を収め、総合評価で184.30/193.8点と、2024年度における最高得点を獲得し、「ファイブスター大賞」を受賞した。

PICK UP NEWS▸ マーケット

急拡大するレンタカー市場にビジネスチャンス

自動車流通新聞 5月25日

近年、市場規模を拡大するレンタカー。全国レンタカー協会の統計によると2024年度末時点の全国レンタカー車両数は109万5,711台に上る。10年前の63万1,143台から1.7倍以上に増加した。コロナ禍では一時期減少したものの、2022年以降は需要回復の流れに乗って、拡大基調に入り、2023年には100万台を突破した。中古車販売店や整備事業者ではレンタカーの基盤は保険代車などが主流だったが、大手FCへの加盟などで一般ユーザーへの貸し出しも増加傾向にある。

PICK UP NEWS▸ マーケット

グローバル市場の電動化比率 2035年で最大59.7%に

日刊油業報知（HELLO） 5月27日

矢野経済研究所は電動四輪車の世界市場に関する調査を実施し、2035年までの四輪車世界販売台数、四輪車の電動化比率（乗用車及び商用車）を予測した。これによると、2024年の電動四輪車の世界販売は前年比25.1%増の2,386万台を見込み、全体に占める電動化比率は26.8%という状況で推移している。将来展望（Aggressive予測）として、2030年には4,769万台、2035年に6,140万台に拡大し、比率はそれぞれ48.7%、59.7%になると予測した。

PICK UP NEWS▸ マーケット

オートバックスセブンが タイヤ購入先で9年連続1位

日刊油業報知（HELLO） 5月27日

オートバックスセブンは先頃、日本能率協会総合研究所（JMAR）の「タイヤに関する調査」において、9年連続でタイヤ購入先1位に選ばれた。これはJMARがこの4月に行ったインターネット調査によるもの。対象は自家用車を保有している全国の18歳から69歳（n=13,574）。「タイヤ購入チャネル」は1位がカー用品量販店で33.4%、2位が自動車ディーラーで20.1%、3位がタイヤメーカー系専門店で13.9%。「同・具体的な店舗名」でオートバックスが23.8%となった。

PICK UP NEWS▸ 企業

スズキがBEV軽トラを 貸し出す実証実験

日刊油業報知（HELLO） 6月11日

スズキは軽トラック「キャリイ」をベースにした電気自動車を製作し、農業を営むユーザーに一定期間貸し出し、使用してもらう実証実験を静岡県浜松市・湖西市・愛知県豊川市・熊本県阿蘇郡で2025年度中に開始する予定だ。この実証実験ではBEV軽トラックの使い勝手や、V2Hシステムを通じて、太陽光発電エネルギーを有効活用できる使い方を検証する。これにより今後のBEVの潜在需要や、BEVの電池を活用した太陽光発電エネルギーの自産自消を検討する。

PICK UP NEWS▸ 企業

次世代電動車の 先陣モデルレクサス「ES」を公開

日刊油業報知（HELLO） 5月27日

トヨタ自動車は先日開催された中国・上海モーターショーで、レクサスの新型「ES」を世界初公開した。日本での発売は2026年春頃を予定している。「ES」は1989年にフラッグシップセダン「LS」とともに販売を開始し、これまで80以上の国や地域で展開してきたレクサスの旗艦モデル。

8代目となる新型「ES」は、レクサスの次世代電動車ラインアップの先陣を切るモデルとして全面刷新した。

PICK UP NEWS▸ 行政・団体

自動運転車の安全性に関する国連会議 アジア初開催

国土交通省 6月13日

国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）傘下の自動運転分科会（GRVA）が6月2日から5日にかけて国連アジア本部（バンコク）で開催された。通常、GRVAは国連欧州本部であるジュネーブで開催されるが、WP.29で副議長を務める日本からの働きかけを踏まえ、アジア初開催となった。開会式典において国土交通省、久保田物流・自動車局次長が挨拶し、従来参加していないアジア諸国に対し国連WP.29の基準調和の枠組みへの参画を呼びかけた。

PICK UP NEWS▸ 企業

新製品ドラム缶ソケットを発表 江東産業

日刊油業報知（HELLO） 6月2日

江東産業はこのほど、新製品のドラム缶ソケットを発表した。手持ちのラチェットレンチやブレーカーバーで、簡単にドラム缶の大栓と小栓の開閉ができる。ソケットタイプのため、コンパクトで、持ち歩きにも便利。JIS規格品のドラム缶に対応しており、国内に流通する鋼製ドラム缶のほとんどに使用できる。大栓にはソケットが、内側の構造にフィット。ラチェットレンチを使用すれば早回しも可能。ドラム缶ソケットは日本製で素材は炭素鋼、クロムメッキ。板厚は8mm。差し込み角は9・5SQ。

PICK UP NEWS▸ マーケット

国内個人向けオートリース市場 27年度末に保有台数100万台

日刊油業報知（HELLO） 6月13日

矢野経済研究所は先頃、国内の個人向けオートリース市場の調査を実施。2027年3月末の個人向けオートリース車両保有台数の結果を公表した。2025年3月末の保有台数は前年比12%増の75万6,000台。2026年3月末は同14.9%増の86万9,000台と見込み、2027年3月末で同15.1%増の100万台になると予測した。一方、一部事業者では契約満了車両が増加してきており、「リース契約率の向上といった課題も浮き彫りになっている」と指摘している。

情報BOX

information box

日本DIY協会 定時総会を開催

日本DIY・ホームセンター協会（稲葉敏幸会長）は6月3日、第一ホテル東京（東京都港区）で定時総会を開催した。

まず2代目会長を務めた遠藤敏東氏（エンチョー）が4月30日に逝去した旨が伝えられ、会員一同が黙祷を捧げた。享年93歳。

総会では2024年度事業・決算報告、2024年度事業計画・収支予算などについて審議され、いずれも可決承認。任期満了に伴う役員改選では、会長の稲葉敏幸（ECN）、副会長の菅陽悦（菅文）、疋田直太朗（コーナン商事）、石黒靖規（DCMホールディングス）、藤原慶三（藤原産業）、竹田光貴（アクリルサンデー）の各氏が留任した。

稲葉会長は、「会員企業の総売り上げ19兆円を超え、会員数は22万人を超えた。暮らしを良くする力、という当初からのスローガンに則って、DIYの考え方を実践し、新たなチャレンジをしていけば業界はもっと伸びていく。協会は設立45年と約半世紀を迎えた。次は100年を目指して、新体制での革新的な協会作りをしていく」とコメント。総会終了後には「我が国企業のグローバル展開の動向とジェトロの支援」と題し、日本貿易振興機構（ジェトロ）海外展開支援部・高塚一氏が記念講演を行った。

住友ゴム工業 「ALL DUNLOP FES」を開催

住友ゴム工業は5月30・31日に東京・丸の内の丸ビルで、ゴルフ・テニス・タイヤなどDUNLOPブランドのすべてを集結させた初の体験イベント「ALL DUNLOP FES」を開催した。

イベントを通して、スポーツの持つ華やかさや若々しさをタイヤや生活用品にも波及させるとともに、各事業のブランドを結びつけることでDUNLOPブランドの価値向上につなげることを目的としている。

30日のタイヤの空気圧点検イベントには急遽、山本悟社長が登壇。「どんなに性能の良いタイヤを履いていても空気圧が適切でないと燃費悪化、変摩耗、ハンドリング低下など安全にも影響する。適正な空気圧を維持することで、安全なドライビングに繋げて欲しい」とアピールした。

全部協 通常総代会を開催

全日本自動車部品卸商協同組合（森川等理事長）は6月18日、アートホテル日暮里ラングウッド（東京都台東区）で第12回通常総代会を開催した。

2024年度事業・決算報告、2025年度事業計画・収支予算、賦課金及び徴収方法、役員報酬、総代選挙規約及び全部協定款の改訂などが審議され、すべて可決承認された。

その後、前理事長の新渡戸八洲男氏を司会に「部品商の人材戦略について」をテーマにしたパネルディスカッションと、日本自動車工業会副会長・専務理事の松永明氏を講師に「自工会ビジョン2035」と題した講演が行われた。

国交省・NASVA 2024年度自動車アセスメント結果を発表

国土交通省及び自動車事故対策機構（NASVA）は5月27日、2024年度自動車アセスメント（JNCAP、安全性能評価）の結果を発表。予防安全性能の各評価項目にそれぞれ評点を加え、総合193.8満点で評価した。

2024年度はトヨタ・クラウン（セダン）、ホンダ・シビック、マツダCX-80、ホンダWR-Vが総合評価星5つの「ファイブスター賞」、184.3点を獲得したトヨタ・クラウン（セダン）が「ファイブスター大賞」を受賞した。

表彰式では、クラウン開発担当のトヨタ自動車・清水竜太郎氏がファイブスター大賞受賞者プレゼンテーションを行い、「クラウンは各時代の最先端の安全技術を採用してきた。駐車場でのアクセル・ブレーキの踏み間違い事故対策から、事故時の両者共存、救急自動通報システムなど、すべての運転ステージを想定して開発している。今後もクラウンを旗頭に安全性能追求と普及を進め、通信技術を活かした人・車・道路の三位一体の安全を目指す」と述べた。

機工協
通常総会を開催

日本自動車機械工具協会（柳田昌宏会長）は6月10日、ホテルグランドアーク半蔵門（東京都千代田区）で第64回通常総会を開催した。総会に先駆けて永年勤続表彰が行われ、20年以上勤続者33人、10年以上勤続者39人のうち10人が出席し、柳田会長より表彰を受けた。総会では2024年度事業・決算報告、2025年度事業計画・収支予算案などが審議され、すべて可決承認された。また、理事の西口茂樹氏（ヤマト自動車取締役会長）が退任したことを受けて、堀江聡氏（同社代表取締役社長）が理事に就任。併せて流通委員会副委員長ならびに関西流通部会部会長に就任した。

ロータストラックネット
定時総会を開催

ロータストラックネット（福島勇人代表幹事）は6月4日、東京マリオットホテル（東京都港区）で、第22回定時総会を開催した。

2024年度事業報告ならびに決算報告、監査報告に続いて、2025年度事業計画並びに予算案、また会則変更について審議が行われ、いずれも可決・承認された。来賓として、国交省物流・自動車局自動車整備課の多田善隆課長、全日本ロータス同友会の中村斉会長がそれぞれ挨拶。また第二部では、富士トランスポートの松岡弘晃代表取締役及びSenoPro Trucksの瀬野博之代表取締役による基調講演「富士トランスポート　勝ち抜いてきた軌跡とこれからの物流と整備について」が行われた。

自機工
通常総会を開催

日本自動車機械器具工業会（山田勝己理事長）は5月28日、機械振興会館（東京都港区）で通常総会を開催した。

冒頭の挨拶で山田理事長は、「カーメーカーにおいては何を目標にして、どのような自動車を作っていくのかが大きな課題となっている。それに伴い私たち整備業界はどのような整備をしていけば良いのか、そしてどのような車検制度に変わっていくのかということを考えながら、日々研究開発をしていかなければならない」との認識を示し、その上で「6月に開催されるオートサービスショーで顧客の意見を聞き、今後の新型車両に対応した整備機器を開発していきたい」と、同展示会に対する期待感を表した。

その後、2024年度事業報告及び収支決算、2025年度事業計画及び収支予算などを審議し、すべて可決承認された。

JCWA
第2回 全日本カーラッピング選手権を開催

日本カーラッピング協会（JCWA・苅谷伊会長）は5月28～30日にかけて、大阪南港ATCホール（大阪府）で催されたSIGN EXPO 2025（第40回広告資機材見本市、主催＝近畿屋外広告美術組合連合会）にて、カーラッピングの技能競技大会、第2回全日本カーラッピング選手権を開催した。

国内外から30人以上の技術者が参加し、2日間の予選でセミファイナル8人の枠をかけて、フロントドアやバンパー、フェンダーなど、ラウンド毎

に各パーツへのカラーフィルムのラッピング技術の高さを競い合った。3日目にはセミファイナル、決勝戦がそれぞれ催され、激闘の末、Rinda Factory・トレンコブ海選手が優勝した。3日間の大会の様子は同協会の公式YouTubeチャンネルでライブ配信され、アーカイブは右の2次元コードより見ることができる。

中村オートパーツ「機械工具フェア2025」を開催

中村オートパーツは5月24・25日、川越水上公園（埼玉県川越市）で「機械工具フェア2025」を開催した。

32回目となる今回、自動車部品・用品、整備用機械工具・システムなどを取り扱う200社近くのメーカー・商社が出展。2日間で2,459人（1,015社）人が来場した。

「大特価コーナー」では、エアジャッキやエアコンガス交換機などの大型機器から故障診断機まで各社から特別価格で提供された。「特別セミナー」では工場経営者に向けて、インターネットで直需客を集めるランディングページの作成法や厚生労働省が義務化した職場での熱中症対策、OBD検査や訪問特定整備などに向けたコンプライアンスの課題解決、レーバーレートの見直し方など、充実した内容で開催された。また、来場者向けに大抽選会が催され、子どもには菓子が配られるなど家族連れも多く来場し、大盛況のうちに幕を閉じた。

MSC 定時総会・研究会を開催

MSC感動夢工場（小川慶一会長）は6月19日、相鉄グランドフレッサイン東京ベイ有明（東京都江東区）で第4回定時総会ならびに第7回研究会を開催した。

2024年度事業報告ならびに収支決算報告及び監査報告、2025年度事業計画ならびに収支予算案が審議され、すべて可決・承認された。

また研究会では、本誌連載「補助金活用講座」でおなじみの、フォーバルの事業承継支援部部長・山田健一氏が「経営者が考える次の一手　自動車アフター業界経営者が知るべき具体策」と題した講演を行った。

さらに翌日は、開催中の第38回オートサービスショー 2025の見学を予定していたことを受けて、同会協賛のバンザイブースの見どころも紹介された。

日整連、整商連 総会を開催

日本自動車整備振興会連合会及び日本自動車整備商工組合連合会（喜谷辰夫会長）は6月20日、泰一ホテル東京（東京都港区）で、第117回定時総会ならびに第100回通常総会を開催した。

両総会に先立ち、職員の永年勤続表彰が行われた後、2024年度事業報告ならびに決算報告、地方ブロック選出理事の辞任に伴う役員の補選が審議され、すべて可決承認された。

新役員は次の通り。日整連＝北海道ブロック–遠藤穣（旭川地方整振会長）、東北ブロック–三浦廣巳（秋田県整振会長）、九州ブロック–渡邊教和（大分整振会長）。整商連＝北海道ブロック–遠藤穣（旭川地方自動車整備協同組合理事長）、東北ブロック–小関眞一（山形商工理事長）、九州ブロック–豊平悦郎（鹿児島商工理事長、岡林直之（宮崎商工理事長）

東整振 通常総会を開催

東京都自動車整備振興会（舟橋竹彦会長）は6月19日、京王プラザホテル（新宿区）で通常総会を開催した。

2024年度事業及び決算報告などを審議し、いずれも可決承認した。総会後の懇親会の冒頭、挨拶に立った舟橋会長は「自動運転をはじめとする新技術がどんどん導入されて行く中で、我々においては電子制御技術への対応力の強化が必須である。今後も自動車ユーザーが安心して点検整備を任せられる業界であり続けるために、技術力の研鑽と、持続的に成長していける健全な会社経営に取り組ん

でいただきたい。東整振及び都整商においては、車社会の安全・安心を支える会員・組合員の事業の発展に寄与すべく、故障診断技術の一層の向上支援や業務効率化などの様々な事業に引き続き取り組んでいく」と、整備技術の高度化へ対応する会員への支援を継続・強化していく方針を示した。

神奈川県自動車整備振興会指定工場 川崎ブロック会総会

神奈川県自動車整備振興会指定工場川崎ブロック会（石崎護ブロック長）は6月19日、ホテル精養軒（神奈川県川崎市）で令和6年度通常総会を開催した。

石崎ブロック長は2023年度の整備白書によると、23年6月末時点の自動車整備工場数は全国で9万1,089事業所ということで、前年比0.2%増加し、2年連続で増加した。我々整備業界は、顧客へ安心安全を届けるのが仕事であり、そのために今後も努力を続けていく」と述べた。

その後2024年度事業報告ならびに収支決算報告及び監査報告、2025年度事業計画ならびに収支予算、任期満了に伴う役員改選などが審議され、すべて可決承認された。

役員改選では、内藤自動車の内藤和彦氏が新ブロック長に就任した。

また、総会後には、ビズピットの小野健一代表を講師として、整備工場のDXをテーマに講演が行われた。

KTC 8月発売のコードレスラチェットレンチを発表

京都機械工具は6月19～21日の3日間、東京ビッグサイトで開催された第38回オートサービスショーの会場において、8月発売予定の「9.5sq.コードレスラチェットレンチセット（品番：JTRE330）」を発表した。

従来モデル（JTRE310）より全長は33mm短く、重量は250g軽くし、ミニエアラチェットと遜色のない小型化・軽量化を実現。また、無負荷回転数も従来の190rpmから320rpmに上げ、高回転によるボルト・ナットの早回し作業を効率化する。

会場では、同製品を手にする来場者の姿が多く見られ、取り回しやすさが高く評価された。

全日本ロータス同友会 定期総会を開催

全日本ロータス同友会（中村斉会長）は6月11日、東京プリンスホテル（東京都港区）で第51回定期総会（理事総会）を、翌12日にザ・プリンスパークタワー東京（同）で全国大会をそれぞれ開催した。全国大会は同会の創立50周年を記念して、恒例の年間表彰式に続いて、講師に落語家の林家たい平氏を招いての講演会「笑顔のもとに笑顔が集まる」のほか、創立50周年式典も併催された。

記念式典では来賓を代表して国土交通省物流・自動車局自動車整備課長の多田善隆氏が挨拶、50周年記念の動画の上映、会長交代セレモニーに続き、中村新会長の所信表明と続いた。年間表彰式では、同友会事業表彰の最高峰である最優績支部に富山支部が表彰された。

いけぺろ社長 第2回オフ会を開催

人材紹介など自動車業界総合支援「メカニクル」を運営するDilecta（池田陽花社長）は、6月1日、インフルエンサー・いけぺろこと池田社長を冠とした、第2回いけぺろ社長オフ会をTool Bar（東京都大田区）で開催した。同会は自動車整備士の地位向上について語らう目的で開催されたもので、抽選で選ばれた20人の整備士を中心に、整備工場の経営者や整備専門学校の校長などもゲストに迎えた。単なる就職支援にとどまらず、就職後の環境改善提案まで行う同社ならではの試みと言える。その盛況ぶりに手応えを感じたいけぺろ社長は、第3回、第4回と継続していく姿勢を示した。今回もSNSを通じて募集を受け付けたとのことで、参加希望者は要チェックだ。

International Automotive Smart Repair
IASRE JAPAN

デントリペア日本グランプリ
開催決定
日本代表選手選考大会

同時開催▶セミナー・展示即売会（デントリペアツール・PDR中古ツール・カーディティーリング）

2025年10月3日金曜日

場　所：堺市産業振興センターイベントホール
〒591-8025 大阪府堺市北区長曽根町１８３－５

セミナー
PDR世界チャンピオン
Diego氏のデントリペアセミナー
アメリカ・日本・ヨーロッパのほぼ全てのコンテストで優勝する等圧倒的技術力を誇る世界ナンバー１技術者

セミナー
有限会社アスナル
カーディティリングセミナー
成熟度を増すカーディティリング業界においてフリーランス事業者の働き方について保護法やコンプライアンスを開設

●コンテスト
●展示即売会
●セミナー
コンテストだけでなくデントリペアの最新ツールや超お買い得の中古ツールの展示即売会もいたします。デントリペアの技術習得に興味のある方も是非お越しくださいませ。

IASRE JAPAN2026
日本代表選手選考デントリペアコンテスト

デントリペア日本グランプリは国際大会を運営している「日本デントショップネットワーク」が開催するデントリペアのイベントです。この日本人限定のコンテストで技術者の日本人No1となった優勝者、準優勝者の２名は2026年に開催を予定している国際大会『IASRE JAPAN2026』の本選出場資格を獲得いたします！

ご興味のある方はどなたでもご入場頂けます。

Japan
Dent-shop.network
Paintless Dent Repair School & network

web　Instagram　Facebook　LINE

出展企業様募集中

主催：日本デントショップネットワーク
大阪府堺市西区草部750-6　TEL：072-273-5571　FAX：072-273-5572
E-MAIL：info@dent-shop.com　【IASRE JAPAN 日本事務局】

Japan Dent-shop.network

最高峰のデントリペアテクニックを学べる

日本デントショップネットワーク

日本のみならず海外からも多くの受講生を受け入れている日本デントショップネットワーク。デントリペアの最先端技術だけでなく、集客や営業マナースキルなどのノウハウも学べる「DENT-SHOPテクニカルスクール」の卒業生を紹介。

全国で活躍するDENT-SHOPテクニカルスクール卒業生

デントリペア・池本

滋賀県東近江市石塔町444-1

代表者	池本 聖也
創業	2024年
事業内容	デントリペア

—テクニカルスクールに入学したきっかけは？

中古車の販売・買い取りを主業にしていたが、同業他社との差別化を図れるサービスとしてデントリペアを考えていた。そんな時、Webサイトに掲載していた藤井代表の理念に感銘を受け、入校を決めた。

—受講した感想は？

プロフェッショナルコースに約1ヵ月半在籍し併設の寮から通っていたが、適度な緊張感を持って基本から応用まで実習形式で学べる素晴らしい環境だと感じた。当初、思い描くように凹みを出せなかった状態から、教えていただいたことを自分に落とし込んで上手く直せた時の達成感を味わえたのは良い経験になった。

—今後の取り組みについて

デントリペアの別会社を設立し、さらなる事業拡大を画策している。また、国内のひょう害による凹みにも組織として対応できるデントリペアのプロフェッショナルチームを立ち上げる予定である。

ボディショップ キヨタ

埼玉県行田市大字馬見塚742-4

清田 龍矢	
デントリペアサービス開始	2023年
事業内容	鈑金塗装、車販、車検、デントリペアなど

—テクニカルスクールに入学したきっかけは？

鈑金修理や整備などの技術者として約13年ほど現場を経験してきた。これまでひょう害車は外注に出していたが、県内でひょう害が起こり自社で対応できる体制を整えるべく入校を決めた。

—受講した感想は？

複数コースを入寮しながら約2ヵ月間受講した。塗装を前提とした鈑金作業とは違い、塗装肌を壊さないよう凹みを出す技術は難しかった。しかし、授業では凹みとじっくり向き合う時間が確保されており、技術を分かりやすく教えてもらえるのは、このカリキュラムの素晴らしい点。

—今後の取り組みについて

卒業後もひょう害車をデントリペアすることで、より実践的な技術を身に付けられた。さらに技術を高めるべく研鑽を積んでいきたい。

工場ルポルタージュ MAINTENANCE SHOP REPORTAGE

［香川県高松市］ラチェットモンキー ルート32号店

業務改革が求められた整備工場
必要から生み出された予約管理システム

高松市の中心部と、「こんぴらさん」の愛称で知られる金刀比羅宮（ことひらぐう）を結ぶ国道32号線の中間地点に位置するラチェットモンキー ルート32号店（運営はヤマウチ）。自らの業務改革の必要から生まれたシステムで車検台数を伸ばし続ける同店について、人見いづみマネージャーに話を聞いた。

工場概要　店長：萱原 茂　住所：香川県高松市西山崎町927-1　設立：1932年（ヤマウチ、店舗は1998年）　スタッフ数：15人（整備士数 10人）

CSが充実した旗艦店

同店を運営するヤマウチは1932年に山内石炭商店として設立。以後、いくつかの社名変更や指定工場認定を経て1998年に現社名になったのと同じタイミングで展開を開始したのが、「スーパー車検工房　ラチェットモンキー」だ。

「車が好きな顧客に対しても、そうでもない人に対しても、モンキーレンチのように間口を調整してガッチリとマッチする接客をし、満足いただける世界へラチェットハンドルのように誘導できる店にしたい」（人見いづみマネージャー）という想いが込められている。

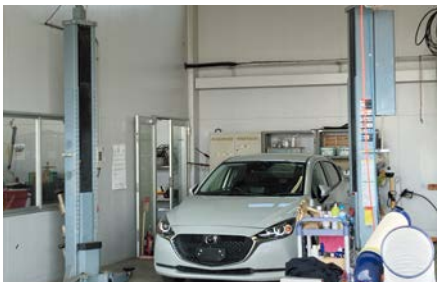
全部で3店舗あるうち、今回訪れたルート32号店は広大な敷地が特徴で、一般整備、車検整備以外にも鈑金塗装やエイミング専用ストール、新車の納整ストールまで備えるなど、ワンストップ工場の要件を充分に満たした旗艦店である。

広大な敷地は整備ストールのみならず、待ち合いスペースにも存分に活かされている。各整備ストールには半地下になった待ち合いスペースが設けられているため、作業の透明性は高い。

同じ場所の2階部分には、各ストールを見下ろすことができる畳敷きの休憩スペースを設けている。ストールを見下ろすもよし、備え付けのテレビを楽しむもよし、顧客が思い思いの待ち時間を過ごすことができる。

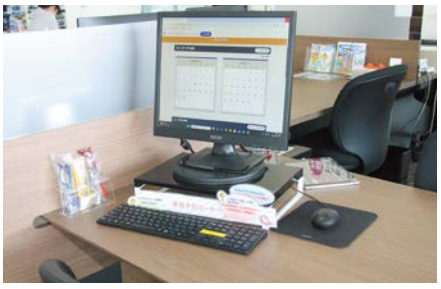
おもてなしはそれだけにとどまらない。同じ2階には、ちょっとしたマンガ喫茶、インターネットカフェかと言わんばかり

メイン工場は検査ライン含め4ストール

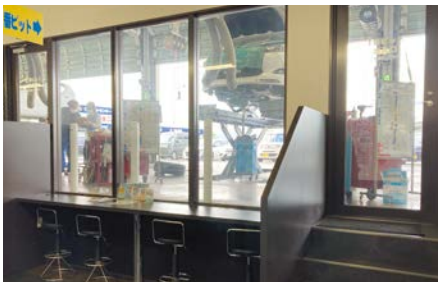

納整スペースも設け車販にも注力

BPからエイミングまで行うスーパー鈑金工房

社員デザインのウェルカムボード


来店しての車検予約にもPCで依頼

電子カタログ表示への切り替えを予定


各ピットに設けられた半地下待ち合いスペース

最新刊を心待ちにされるコミック本コーナー

暑さ対策、空調服のバッテリーを常に充電

の大量のコミック本を常備。ここ目当てで訪れる顧客も多いのだとか。

記者は過去何度か同店を訪れていたが、この2階はさらなる進化を遂げており、一角にはトレーニングマシンまで備え付けられていた。

M&Aをきっかけに ESに目を向ける

かようにもともとCS（顧客満足）は高そうな同店だったが、ES（従業員満足）については世間並みというか、さほど重視されてこなかったのが実情だった。

転機が訪れたのは、2011年。ヤマウチは、北海道のオカモトグループの完全子会社になった。これを受けて、年間休日を増やす＝ESを充実させるべしとのお達しが親会社から言い渡されたのである。

「もちろん、ただ休日を増やすだけでなく、売り上げを落とさずにという条件も付いた。おいそれとスタッフを増強できない状況下では、効率化、いかに業務のムダを省くかしかなかった」と人見マネージャー。

現場叩き上げの彼女だからこそ導き出したポイントは、入庫管理・工程管理だった。

自らの業務から生み出したtotoco

「整備ストールにいかに空き時間を作らないかのスケジュール管理もそうだし、入庫予約受け付けにおいても、希望する日程が空いているのかどうか台帳をめくってめくって……空いていなかった、じゃあどうする？で時間のムダが生じる。こうした諸問題を一挙に解決できるのが予約管理システムだった」。

必要は発明の母、こうして生まれたのが本誌でもおなじみの車検ネット予約管理サービス「totoco」だ。整備工場自身の経験を基に生まれたことがカギとなり、直近の整備事業者アワード（日刊自動車新聞社主催）でDX賞を受賞した。

導入の効果はてきめんで、今や入庫予約の6割がネット予約。そのうち半分が新規客でリピート率は75%。もちろん、totoco単独での効果ではなく、ネットを使った集客の仕組みと組み合わせての結果である。年間車検台数も2022年以降、2,613台→2,688台→2,804台と、市場縮小が叫ばれる中においても伸び続けている。

構想からリリースまで長期に及んだtotocoだが、今年中に2.0へのメジャーアップデートを控えている。誰よりも整備工場のことが分かっているだけに、進化への期待は大きい。

（八木正純）

新製品情報

グッズ／カーケア／他

次世代硬化テクノロジー搭載の最新モデル

「Pro Cur X」

ウインドウガラスリペア専用UV硬化ライトのプロキュアプラスシリーズを大幅に改良。

赤外線温度センサーを内蔵し、照射中にガラス温度をリアルタイムに読み取ることで最適な硬化スピードと硬化時間を自動で調整する。また、LED1個当たりの出力が約66%、カスタムクロームメッキ加工により硬化効率が20～30%向上した。硬化範囲を最大15cmまで拡張したため、長いひび割れ修理にも適する。USB、USB-Cケーブルが付属。

グラスウエルドジャパン TEL 075-721-5789
京都府京都市北区上賀茂榊田町16-1　https://www.gw-ccj.com

グッズ／カー用品／他

コーティング被膜を侵さず深いツヤを取り戻す

「nano Lift（ナノ・リフト）」

コーティング被膜に付着した目に見えない汚れや水垢まで除去するコーティング専用クリーナー。

洗車後にマイクロファイバータオルを用いて被膜へ塗り広げ、水で洗い流すだけの簡単な手順で作業完了。ボデーやガラスだけでなく、フロントグリルやリヤゲートなどのメッキ部、モールなどにも対応し、コーティング本来の硬化状態を引き出すことで、撥水性能と深いツヤを復元する。

グローバルスズキ TEL 078-200-6531
兵庫県神戸市中央区筒井町2-3-15　https://global-suzuki.com

整備機器全般

ロアアームを下げた後の保持に最適

ロアアームホールドラバー
「LAR-202」

ロアアームを下げた後に同製品を挟み込み保持することで作業性がアップする。天然ゴムを使用しているため滑りづらく安定する。また、車両の傷つき防止にもなる。全長200×高さ60×幅40mm、テーパー角度20°。

江東産業 TEL 03-5636-1251
東京都江戸川区春江町2-40-10　FAX 03-5636-1252

整備機器全般

軽自動車のストレッチベルトにフィット

ストレッチベルトインサーターショートタイプ
「SI-34」

プーリー周りに障害物があり、従来のストレッチベルトインサーターが使えず困った経験があるという声に応えた商品。自動車の高性能化に伴いプーリー周りの作業空間はますます狭くなっている。同製品はネジ部センターアダプターを外した場合に開口部寸法を最大34mmにすることが可能。ダイハツ車の厚いプーリーや、スズキSエネチャージなどの3点掛けにも対応している。

江東産業 TEL 03-5636-1251
東京都江戸川区春江町2-40-10　FAX 03-5636-1252

グッズ／カーケア／他

これ1本で脱脂と静電気対策が万全

「FINIXA 水性シリコンオフ」

帯電防止作用を兼ね備えた汎用水性シリコンオフ。溶剤系や水性塗料の塗布前の脱脂作業に適し、揮発が緩やかなため汚れや油分へ確実に浸透して拭き取ることができる。塗膜に付着している塩分や石鹸成分の除去にも使用できるなど、幅広い作業に活躍する。水性のため、手にも優しく手袋などの保護具なしでも使いやすい仕様。

ダイスゼネラル TEL 078-761-0314
兵庫県神戸市灘区大石南町1-4-24 KFCビルディング5階　https://dyth-general.com

整備機器全般

エアダスターガン

セパレートエアーダスターガン 「WT66SS-5LSP」

エンジンルーム内など、閉所の入り組んだ個所をピンポイントでエアブローするのに適する。先端にはストッパーが付属しており、連続でのエアブローが可能。ノズルの長さは 100・200・300・500mm の 4 種類を準備。

WTBワタベコーポレーション TEL 06-6710-3010
大阪府大阪市東住吉区桑津2-15-6　https://wtb-watabe.co.jp/

整備機器全般

踏板ロック状態でのサイドスリップ検査を防止

「サイドスリップセーフティロック」

サイドスリップテスター踏板のロックピンが刺さった状態でサイドスリップ検査をしてしまうケースを防止する装置。検査をしない時は常に踏板がロックした状態なので、作業者が踏板に乗った場合でも転倒の危険性がない。写真のエアーロック式のほか、電源ON/OFF式もラインアップ。

バンザイ TEL 03-3769-6880
東京都港区芝2-31-19　https://www.banzai.co.jp

整備機器全般

SQ1/4"ソケット対応で細部の整備に

「ソケットアダプター 1/4」

同社の電動スリムラチェットに取り付けることでSQ1/4"ソケットに対応するアダプター。内装やエンジンルームなど細部の整備に使用できる。

本体全長：18㎜、重量：5g、規格：六角対辺6.35mm-四角ドライブ6.35mm（SQ1/4"）。

ベッセル TEL 06-6976-7771
大阪府大阪市東成区深江北2-17-25　FAX 06-6971-1309

みんながわかる！

OBD検査

ON BOARD DIAGNOTICS INSPECTION

第５回

OBD検査の対象車両はどう見分ける？

佐野和昭 Profile 筆者プロフィール

東北大学　工学部卒業後、トヨタ自動車へ入社。アフターサービス部門に配属され、品質管理からサービス企画・改善、部品のマーケティングまで幅広い分野を担当。その後、自研センターの取締役に就任。新しいアルミ修理技法などの修理技術開発を担当し、機械・工具メーカーなどと意見を交わした。現在は、車体整備をはじめとした整備関連業界において複数社の顧問を務めると同時に、セミナー講師やコンサルタントとしても活躍中。

■ OBD検査の対象車両の基準日は？

昨年10月から始まったOBD検査ですが、すでに半年以上が経過した現在でも、「まだOBD検査の対象車はほとんど入庫していない」という事業者が多いのではないでしょうか。今回は、OBD検査の対象車両の見分け方について解説するとともに、今後の対象車の入庫台数の増加ペースについても予測します。対象車についてはOBD検査ポータルサイトには下記のように記載されています。

- **国産車：令和３(2021)年10月１日以降の新型車**（フルモデルチェンジ車）
- **輸入車：令和４(2022)年10月１日以降の新型車**（フルモデルチェンジ車）

しかし、ここでいう「新型車」の基準日については明確な定義は示されていません。一方、国交省が公表している説明資料では、型式指定日が基準であることが明記されています。さらに、OBD検査の適用開始日は以下の通り定められています。

- **国産車：2024年10月１日以降**
- **輸入車：2025年10月１日以降**

加えて、「型式指定日から２年以上が経過していること」も適用条件となります。

■ 型式指定日・発売日・OBD検査開始日の関係性

新型車は、一般的に型式指定から約1.5～2ヵ月後に発売されます。この傾向で公表されているOBD検査開始日を基に、非公表の型式指定日を推定し、発売日との関係性を整理しました**（表１）**。

たとえば、対象車両一覧表の先頭にある三菱アウトランダー PHEVは2021年12月16日に発売されました。これを基に、型式指定は約２ヵ月前、すなわち2021年10月ごろと推定でき、「2021年10月１日以降の新型車」という対象条件と一致します。この場合、もう一つの条件である「型式指定日から２年以上経過」よりも、「2024年10月１日以降」という一律の開始日の方が先に満たされるため、OBD検査の開始日は2024年10月１日となります。その後、型式指定日が2022年９月ごろと推定されるレクサスRXまでの新型車は、OBD検査の開始日が一律に2024年10月１日となります。しかし、スズキ・ソリオのように型式指定が2022年10月以降の車種では、「型式指定日から２年以上経過した日」が優先され、たとえばソリオの場合は2024年10月14日がOBD検査開始日になります。つまり、ソリオ以降の新型車では、車種ごとに異なるOBD検査開始日が設定されるようになります。

■ 車検証の「OBD検査対象」表記だけで判断していいの？

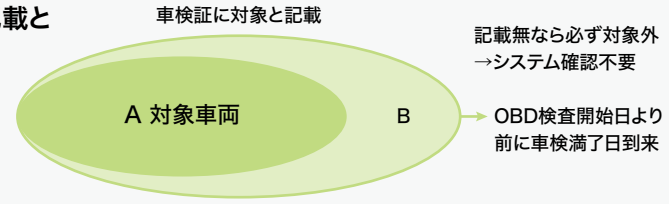
OBD検査開始日は型式指定日の２年後とされているため大型車やバス、タクシーなど初回車検が１年の車両は、OBD検査開始日より前に車検満了日を迎えることがあります。たとえば、三菱ふそうSUPER GREATは2023年10月25日に発売されており、同年12月に登録された場合、初回車検は１年後の2024年12月です。

表1　対象車両の発売日とOBD検査開始日との関係

		型式指定日	発売日	OBD検査開始日	2021			2022					2023				2024				2025			
					10	11	12	1	9	10	11	12	1	10	11	12	1	10	11	12	1	10	11	12
A	アウトランダー PHEV	2021/10/??	2021/12/16	2024/10/01	指		売	登										始			初			
B	レクサスRX	2022/09/??	2022/11/18	2024/10/01					指		売	登						始						初
C	ソリオ	2022/10/14	2022/12/15	2024/10/14						指		売 登						始						初
D	SUPER GREAT	2023/10/20	2023/10/25	2025/10/20										指 売		登				従		始		2

指 … 型式指定日　売 … 発売日　登 … 登録日　始 … OBD検査開始日　従 … 初回車検日(従来)　初 … 初回車検日(OBD)　2 … 2回目車検日(OBD)

図1　車検証のOBD検査対象車の記載とOBD検査の適用の関係



この車両のOBD検査開始日である2025年10月20日以前に車検を実施する場合は、車検証にOBD検査対象車と記載があってもOBD検査の対象外です。同じSUPER GREATでも、2024年11月登録なら、初回車検は2025年11月なのでOBD検査の対象になります。「車検満了日がOBD検査開始日以前の車両なのに、なぜ車検証に『OBD検査対象』と記載されているのか?」と疑問を持つ方もいらっしゃるでしょう。これは、電子車検証の導入によって継続検査時には車検証を再発行せず、車検有効期間のデータのみが更新される仕組みになったからです。たとえ初回車検時には対象外であっても、2回目の車検では確実にOBD検査の対象となるため、車検証に『OBD検査対象』と記載されているのです。

■ 実務上の判断方法は?

車検証の記載と実際の初回車検のOBD検査の適用の関係は**図1**のようになります。AのOBD検査の対象車は車検証記載の楕円の中に含まれますので、記載なしの場合は確実に対象外と言えます。図のAの外側のBの薄い網掛けの部分は車検証の記載があるにもかかわらず対象外であることを表し、OBD検査開始日より前に車検満了日が到来した場合が該当します。

実務では、車検証に記載があっても対象車両一覧表でOBD検査開始日を確認しなければいけないのは大変です。そこで特定DTCアプリの「検査要否確認」機能を使用することにより機構サーバーが自動的に該当車種のOBD検査開始日を確認し、対象かどうかを判断してくれます。

■ OBD検査の実施状況

国交省のデータによるとOBD検査開始から2025年2月23日までの検査実績は83,606台（うち指定工場：67,842台）であり、まだ非常に少ないのが現状です。当初段階で意外に少ない原因は、型式指定から実際の登録までに少なくとも3ヵ月程度のタイムラグがあるのが影響していると考えられます。

この数字からも「OBD検査対象車の入庫はまだ少ない」という現場の実感が裏付けられています。しかし、今後はタイムラグが解消されるにつれて、ゆっくりと対象車の入庫が増加していく見込みです。

■ 今後の対象車両数の増加予測

国交省によれば、2021年10月～2023年9月の2年間のOBD検査対象車両は約130万台です。年間の継続検査対象台数が約3,200万台ですから、制度開始から最初の2年間の平均では約2%と、非常に少ない割合です。2025年1月末時点では対象車両数が382万台に増加しており、ペースは上がっているものの、継続車検全体に占める割合は、まだ少なく、2025年の入庫台数に占める対象車両の割合は、1%台前半と推計されます。

■ 今回の疑問に対する回答

「車検証にOBD検査対象と記載がなければ対象外だが、記載があっても1年車検の車種は例外的に対象外のケースがある」となります。実務では、特定DTCアプリの「検査要否確認」機能を使えば自動的に判定できるため、問題ありません。

今回は対象車両について、徹底的にこだわって調査してみました。今後、本誌と連動して企画中のOBD検査に関するオンラインセミナーでは、図を用いながらこの関係性をより分かりやすく解説する予定です。ぜひご期待ください。　（つづく）

株式会社チームエル　關 友信　https://team-l.co.jp/

準備運動から本番まで人材を見つめる！

第５回
応募者を増やす募集要項作成のテクニック

前回まで、会社の理念や理想の人材像を明確にし、その人材に訴求する魅力的なメッセージを作ることの必要性や具体的手法を書いた。しかし、どんなに良いメッセージが作れたとしても、そのメッセージが対象者の目に触れなくては意味がない。採用活動では「いかに多くの理想の人材“候補〟を集めるか」にも注力しなくてはならない。そのためには、ポイントが２つある。

1. 募集告知の閲覧数を増やす
2. 応募者にアクションさせる

この２つのポイントをクリアすることで、望む人材の応募が劇的に増える。

ポイント① 募集告知の閲覧数を増やす

まず閲覧数であるが、募集告知を応募者の目にとまりやすくするには、ネット検索にヒットしやすくすることが重要だ。マーケティングで言えば、「見込客への訴求」である。これは、ハローワークのような無料の媒体だったとしても必須となる。

ポイント② 応募者にアクションさせる

次に応募者にアクションしてもらうのだが、応募者が実際に応募するという行動に踏み込ませるためには、自分がそこで働くというイメージを強く持ってもらうことが必要となる。人は未知の領域に踏み込むのは怖いものだ。業務内容はもちろん、働く仲間や用意されている環境などを分かりやすく説明することで、不安を払拭し、応募というアクションを後押ししたい。ここで、「閲覧数を増やすためのテクニック」をいくつか紹介したい。

・給与の最低賃金を高くする

応募者が情報検索する際には、検索条件で給与の「最低額」を入力して検索することが多い。すると、たとえばあなたの会社の月額給与が「18〜28万円」と記載された場合、最低賃金を「20万円」と記載されたほうの検索には引っかからないことがある。そのため、募集要項に記載する月額給与は、幅を持たせるよりも、「最低額」を高く設定することを意識したい。とはいえ、会社の給与の実態を無視して好き勝手に「最低額」を高くするわけにはいかない。そのため、次の方法を試していただきたい。

・役職別、職種別に複数の応募を出す

これは、ハローワークやindeedなどの無料で使える募集媒体で特に有効なテクニックだが、同じ職種であっても「役職別」に、同じ役職であっても「職種別」に複数の募集をすることで、給与の最低金額を段階別に引き上げることができる。たとえば、メカニックという職種の場合、「メカニックアシスタント」、「メカニック」、「チーフメカニック」、「マネージャー」など、それぞれの役職ごとに「〇〜□万円」と月額給与を設定することで最低金額が上がり、役職のどれかには引っかかることになる。これによって、未経験者からベテランまで、幅広い応募者に閲覧してもらうことができる。

そして職種名を「整備士」ではなく「メカニック」としたのにも理由がある。若い年齢層を採用したいのであれば、彼らが興味を持ちそうな「新しさを感じる表記」にするのも効果がある。「自動車販売」や「営業」ではなく「カーライフアドバイザー」、「受付」ではなく「レセプショニスト」……といった感じである。

ぜひ試していただきたい。

チームエルの書籍**「人が育つ会社、育たない会社」**が出版されました。本書では、①企業理念を定め、②自社に合った人材を採用する基準と仕組みを整備し、③入社した社員の自らの頑張りが正当に評価される仕組みで定着を図る、の３つの方策について詳述します。

時事通信社 **価格**1,980円（本体1,800円+税）
著者：株式会社チームエル 堀越勝格／江蔵直子／矢澤知哉

筆者プロフィール
株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

現役マネージャーいづみの

ウチでもできた！

デジタル集客術

本連載はデジタル集客に悩む整備工場を助けるべく、
現役の整備工場マネージャーが背中を押すものである！

第５回　（クラウド）予約システムありますか？

みなさまこんにちは！ヤマウチの人見です。今回のテーマは「（クラウド）予約システムありますか？」です。

まず皆さまにおたずねしたいのは、予約管理をペーパーではなくシステムで行っているかどうかです。私たちも昔はペーパー管理でした。縦軸が日付、横軸が入庫時間になっている碁盤の目のような予約枠をA3サイズの紙にコピーし、むこう３ヵ月分の紙をバインダーに挟んで使うという寸法です。「予約が入れば枠に顧客名を書く！ 変更になったらホワイト修正液で修正する！ 紙のぐるり一周がすぐにボロボロになるからセロテープで補強する！」こんな感じです。

ただ、この手法では、予約時の細やかな要望を記すことができません。仕方がないので、別建てでノートを用意、「１ヵ月分が１冊分、見開き１ページが１日分、入庫の時間軸で罫線をあらかじめ引いておく」魔改造ノートのでき上がり。

「A3バインダー」と「魔改造ノート」のダブル管理。超手間ですよね……。それに、何の予約が何台入っているのかなんて、まったくもって分かりません。「えぇ？当時の上司たちって、一体全体どうやって運営戦略をたてよったんや……（困惑）」。ホンマに摩訶不思議ですｗ

私も当時は現役バリバリフロントスタッフでしたから、「ちょ、ンなもんムダ過ぎるやろｗ」と、魔改造ノートをエクセル管理に変更して業務改善を図ったんだけれど、A3バインダーはホワイト修正液まみれだし（テープははがれる、液は割れる）、判別不可能な文字も踊り狂っています。A3バインダーを握り込んで来店客と長話するスタッフもいますから、予約を承る際にエクセル頼みになることもあります。もうね、控え目に言ってカオスですよカオス！ 予約のダブりなんてモンは、もはや「お家芸」のレベルです。現場は「ムダの蓄積で起こる理不尽な忙しさ」にどんどん麻痺していきました。

「これではアカン！」とtotoco（ヤマウチで販売しているクラウド型予約管理システム）をこしらえたんですが、「予約管理とはこうであれ！」という私の欲望が詰まりに詰まっていますからフロントスタッフが使いやすい設計になっています。予約の繁閑はカレンダーの濃淡で一目瞭然だし、予約枠はこまやかに開けたり閉じたりできます。日々入庫する車の作業進捗状態も管理できますし、まるで紙やホワイトボードで管理しているかのごとく使えます。基幹システムとも連携させたことで何度もデータ入力をしなくて良くなりました。さらには顧客からのWeb予約にも対応しましたので、利便性も向上。何といってもクラウドシステムにしたことで、いつでも、どこでも、誰でもが、一元管理された予約や工程管理の内容を確認したり操作できるようになりました。現場とフロントを何度も往復しなくても良いんです。素晴らしくないですか!?

予約枠のシビア管理ができるようになりますと、スタッフの希望休に応えやすくなります。Web予約が顧客に浸透しますと電話の本数が格段に減ります。totocoも進化を遂げて、代車やピットの管理までできるようになりました。

「私はクラウドシステムに救われました！ もう絶対に手放せません（ニッコリ）」今月号は通販番組のような言葉で締めさせていただきますｗ

筆者プロフィール　人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数30,000人・車検台数6,500台を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco（とっとこ）」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ
https://totoco.biz/

第５回

事例：EV対応型整備工場への転換

事例と解説
整備業のための
補助金活用講座

フォーバル　山田健一

今回も、自動車販売・整備を行うA社が、新分野展開に挑戦した事業再構築の事例をご紹介します。

A社は大阪府で自動車販売、整備、レンタカー業などを展開しており、整備部門では長年培った技術と、ハイブリッド車対応の実績を持つ熟練整備士が在籍する認証工場を運営してきました。

しかしコロナ禍により、自動車販売はサプライチェーンの分断と新車・中古車の流通減で大きな打撃を受け、レンタカー需要も旅行・出張の激減により壊滅的な影響を受けました。こうした逆風に加え、今後加速するEV普及と環境規制強化を見据え、A社は事業構造の抜本的な見直しに取り組むことを決断されました。

自社のSWOT分析によると、強みは整備と塗装の両方を内製化できる希少性の高い対応力や、塗装技術の高さ、新技術習得への意欲と若手技術者の存在が挙げられました。一方で、指定工場認証の未取得による車検対応の外注化や、顧客管理体制・営業体制の未整備が弱みとなっていました。外部環境としては、EVの普及と水性塗料使用車の増加が事業機会であり、他社との差別化につなげられると判断しました。

そこでA社は、今回の補助金を活用し、「EV対応型整備工場」への業種転換を柱とする再構築に着手することとしました。第一に、EVの構造や電装系に対応するための設備（スキャンツール、EV用リフト、ADASキャリブレーション装置など）を導入し、EV車両の整備・点検の内製化を進めました。第二に、これまでの有機溶剤系塗料から脱却し、水性塗料に対応する新たな塗装ブースを整備し、環境対応とEV対応車両の塗装ニーズに応える体制構築を目指しました。第三に、自社で車検完了可能な「指定工場」の認証を取得すべく、車検ラインを新設し、外注コストの削減と納期短縮による競争力強化を図りました。

加えて、営業力と顧客管理体制の再構築にも注力。新たにCRM機能付きのクラウド整備システムを導入し、SNSやLINEを活用した営業活動を強化。リスティング広告を通じてEVオーナーや環境意識の高い個人客を新たなターゲットとして獲得し、販売・整備・塗装といった既存事業とのシナジーによるクロスセル戦略で、客単価向上とリピート率の改善を目指しました。

今回の設備投資総額は、整備用機器、塗装ブース、車検設備、情報システム等を含め数千万円規模に及び、資金調達は金融機関からの融資を活用しました。EV対応技術や水性塗料対応の技術は、現場の若手技術者に継承されており、今後も定期的な外部講習を通じて人材育成を継続していく方針です。

A社の取り組みは、単なる生き残り戦略ではなく、100年に一度の自動車業界の大変革期における積極的な挑戦といえます。競合が少ないEVや水性塗料市場に早期参入することで、同業他社との差別化と収益性の向上を狙うと同時に、環境対応という社会的要請にも応える持続可能な整備業のモデルケースとして、他の整備事業者にとっても大きな示唆を与える事例となるでしょう。

次回も自動車アフター業界の事業者の次の一手をご紹介します。

筆者プロフィール

国内大手EC会社にてマーケティングを担当。その後、大手M&Aアドバイザリー会社にて上場企業の経営戦略立案やM&Aアドバイザーとして数多くのM&Aを実行支援。2016年に㈱フォーバルの事業承継支援事業立ち上げに参画。自動車アフターマーケットでの後継者問題の解決、補助金支援に力を入れている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら
株式会社フォーバル
事業承継支援部
自動車アフターマーケットチーム責任者　山田
TEL:0120-37-4086
https://forval-shoukei.jp/

Protorios Aftermarket Seminar

プロトリオスがお届けするセミナーのご案内

自動車アフターマーケットに関する
知りたいこと、知っておくべきこと
すべてここで学ぶことができます

労働安全衛生法特別教育

電気自動車等の整備の作業に係る特別教育

学科6時間　実技1時間

事業者は、対地電圧が50Vを超える蓄電池を内蔵する電気自動車、ハイブリッド自動車などの整備業務に就かせる労働者に対し、電気自動車等の整備の業務に係る特別教育の実施が義務付けられています。

(労働安全衛生法第59条第3項／労働安全衛生規則第36条第4号の2／安全衛生特別教育規程第6条の2)

巻き上げ機（ウインチ）運転者特別教育

学科6時間　実技4時間

巻き上げ機の運転中には、強力な力が作用するため、作業者が巻き込まれるリスクや機材の破損が発生するリスクもあります。このような危険が伴う作業環境で働く労働者の安全を確保するために、巻き上げ機の運転業務に係る特別教育が実施されています。

(労働安全衛生法第59条3項／労働安全衛生規則第36条第11号／安全衛生特別教育規定第14条)

研削といしの取替え等業務特別教育

学科4時間　実技2時間

研削といしは、その取扱いを誤ると作業中に「といし」が破壊され重大な災害につながる危険性があります。研削といしの取替えを行う作業者は、この研削といしの危険性を十分に認識し、安全に取り扱うことができる知識と技術を有していることが必要です。

テールゲートリフターの操作に係る特別教育

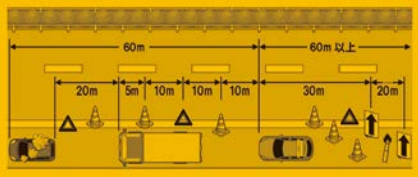
10月開講予定

学科4時間　実技2時間

特別教育の受講が必要となる業務は、テールゲートリフターの稼働スイッチを操作することだけではありません。テールゲートリフターに備え付けられた荷のキャスターストッパーの操作、昇降板の展開や格納の操作など、テールゲートリフターを使用する業務も含まれます。

開催地への講師派遣も行っています。
修了証の発行、学科または実技のみの開催も受け付けます。

車積載車による事故車等の排除業務に係る自家用自動車の有償運送許可のための研修



受講いただくことで、道路上の事故車および故障車を
運送することができるようになります

(有償運送許可を受けた運輸支局管内に限る)

定期開催スタート

開催スケジュールは　https://bsrweb.jp/products/training/information.html　にてご確認いただけます

PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

[ホームページ]
https://www.proto-rios.co.jp/

[BSRweb]
https://bsrweb.jp/

ボデーリペア技術研修所　事務局　■〒541-0046　大阪市中央区平野町2-3-7　TEL.06-6227-5732　FAX.06-6227-5606

反骨心を原動力に成長
新工場移転を機に第二創業期がスタート

カーサービス Number one

社長＝松尾勝　所在地＝長崎県西彼杵郡長与町本川内郷962-5
使用ソフト＝ラクロスⅡ

レス率50～60%の孫請けからの大逆転

人口約4万人の長崎市北部の大村湾に面した長与町。2017年10月、同社はこの地に開業した。

松尾勝社長は、ディーラーや長崎市内の鈑金塗装工場を渡り歩き、確かな技術を習得。また工場長を任され、経営に携わる場面も経験してきた。満を持して長年の夢だった独立開業を果たしたわけだが、これまでの道のりは決して平坦ではなかった。

開業当初はほとんど入庫がなく、入る仕事は過去に世話になった先輩などからもらう孫請けばかり。当然、レス率も50～60%が当たり前だった。「早く工場を閉めろ、社名にナンバーワンなんて使うな、など散々心ない言葉を掛けられバカにされてきた」。

しかし、決して諦めなかった。妻の春香さんとともに、手作りしたチラシのポスティングや近隣の車販店への営業などできる限りの手を尽くし、さらにはSNSでの情報発信に加え、コンサル会社に依頼してWebサイトを制作するなど直需客の獲得に向けた施策にも力を入れた。松尾社長の技術力と人柄、そして地道に続けてきた宣伝活動が実を結び、現在は月間50台の入庫台数を数え、そのうち直需客が約7割を占めるまでに成長を遂げた。

また2年前に近隣の土地を購入し、7月に新工場が完成する見込み。新工場は環境に配慮し、日本ではまだ珍しい木造と鉄骨造のハイブリッド工法を採用した。また車体整備士資格を取得し、新工場移転と同時に特定整備認証の看板も掲げる予定だ。

「資金が尽き、私財を売ってまで営業していた時期や、妻と工場を閉めようかと話し合ったこともあった。でも、バカにした人たちを見返したいという反骨心があったからこそ、ここまでやってこれた。まだまだ会社を大きくしたい」。松尾社長のサクセスストーリーはこれからも続く。

顧客管理と見積り作成時間の短縮を求めてソフトを導入

見積りソフトはコストを抑えるため、2019年からEGweb及びEGwebプロを利用してきた。しかし、顧客数が増え、顧客管理機能が必須となった上、保険修理案件が多く、見積書作成のスピードアップが急務となったことから本格的な見積りソフトの導入を検討。2023年5月、鈑金塗装業務がメインだが、直需客に対する整備需要を取り込むことを想定し、整備・鈑金統合システムのラクロスⅡを導入した。

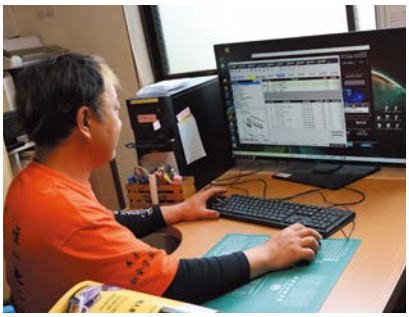
導入した感想をたずねると、「妻でも使えるほど直感的に操作ができ、使い勝手が良い」と高い評価をいただいた。大ダメージの見積書もスムーズに作れ、当初求めていた見積り作成の時間短縮も果たせている。

サポート体制について、現在は利用する機会が減ったが、「導入当初は何度も電話を掛け、分かりやすくていねいに教えてもらった。その時に、このシステムを導入して正解だったと確信した」。また営業担当についても、「100点満点評価で180点」と期待を上回る高評価をいただいた。

最後に、「WebサイトやLINEなどと連携し、入出庫まで管理できるお客様カルテみたいな機能があればうれしい」との要望を受けた。進化を続ける同社に貢献できるよう、私たちもナンバーワンを目指し歩みを止めない。

松尾勝社長（右）と苦楽をともにした妻の春香さん

国内では珍しい木造×鉄骨造の新工場。完成が待ち遠しい



直感的に操作できて使い勝手が良い点を高く評価

業界の問題課題に「王手」

強化したいポイントだけ
無駄なく選べる統合システム

ラクロスⅢ
RACROSⅢ

豊富な情報で業務を支援する
鈑金塗装見積りシステム

鈑金塗装見積りシステム
MorenonⅢ

PROTO RIOS

シム単体の
手配不要

シムの洗浄
作業不要

ノイズ
低減

シム付きブレーキパッド

整備の効率化を図り、ドライバーに快適なカーライフを提供!!!

ALL IN ONE

当製品は、ブレーキ鳴きの効果が得られるシムとセットで販売しています。整備の現場で、再利用時の洗浄や新品の手配といった手間を軽減します。

ITEM RANGE

2017年より業界に先駆けて発売を開始。当初4品番からスタートし、50品番を超えました。新しい定番となるよう、更なる品番拡充を進めます。

品番
拡大中

Japanese
Brake
Component
Specialist

PERFECT CONTROL
PERFECT BRAKING
MK KASHIYAMA

エムケーカシヤマ株式会社
C.S.CENTER
〒385-0009 長野県佐久市小田井 1119

Diagnostic Tool

TPM-6

王道機の進化型
絶賛発売中

令和6年度補正予算
スキャンツール補助事業
対象機
(JASEA-KS-29)

TPM-6が選ばれる理由

OBD 検査使用時はWindows11 がインストールされたパソコンまたはタブレットが別途必要です

整備・検査兼用スキャンツール

整備に必要な故障診断、データのライブ表示やECU初期化/登録機能を備えているのはもちろんのこと、OBD検査機器としても使用できる兼用モデルです。整備と検査(J2534 モード)の各モードの切り替えは簡単に、そして迅速に行うことができます。

Easy Report Plus

iOS および Android スマートフォン、タブレットに対応したアプリ Easy Report Plus を提供しています。TPM-6 は車両に接続して車内に置いたままアプリから操作が可能です。また診断結果をただちにレポートとして出力してメール送信したりデータ保存することが可能です。

便利機能

エーミングやDPF点検など、よく行う作業をまとめた特殊機能をオリジナルで設定しています。マニュアル通りの手順で進めるには数々の選択項目を進めないといけない煩わしさを解消できます。その他、Wi-Fiでのアップデートや車両登録機能を備えています。

Diagnostic Tool

TPM-7 OBD Plus

令和6年度補正予算
スキャンツール補助事業
対象機
(TPM-7:JASEA-KS-53)
(NANO-LC:JASEA-KS-13)

NEW ARRIVAL

一体型最大機能のTPM-7にNANO-LCをセット

OBD 検査使用時はWindows11 がインストールされたパソコンまたはタブレットが別途必要です

あらゆる場面で活躍する多機能モデル

整備機能、OBD検査機器としての使用、Easy Report Plus 対応など一体型機器では最大機能を持つスキャンツールです。
NANO-LCをセットにすることで、整備と検査を個別に行える利便性に優れたモデルです。

ライブデータグラフ表示

一体型TPMシリーズでは唯一データのライブ表示をグラフ化することが可能です。状態変化を視覚的に表すことでトラブルシュートの時間短縮に貢献しています。

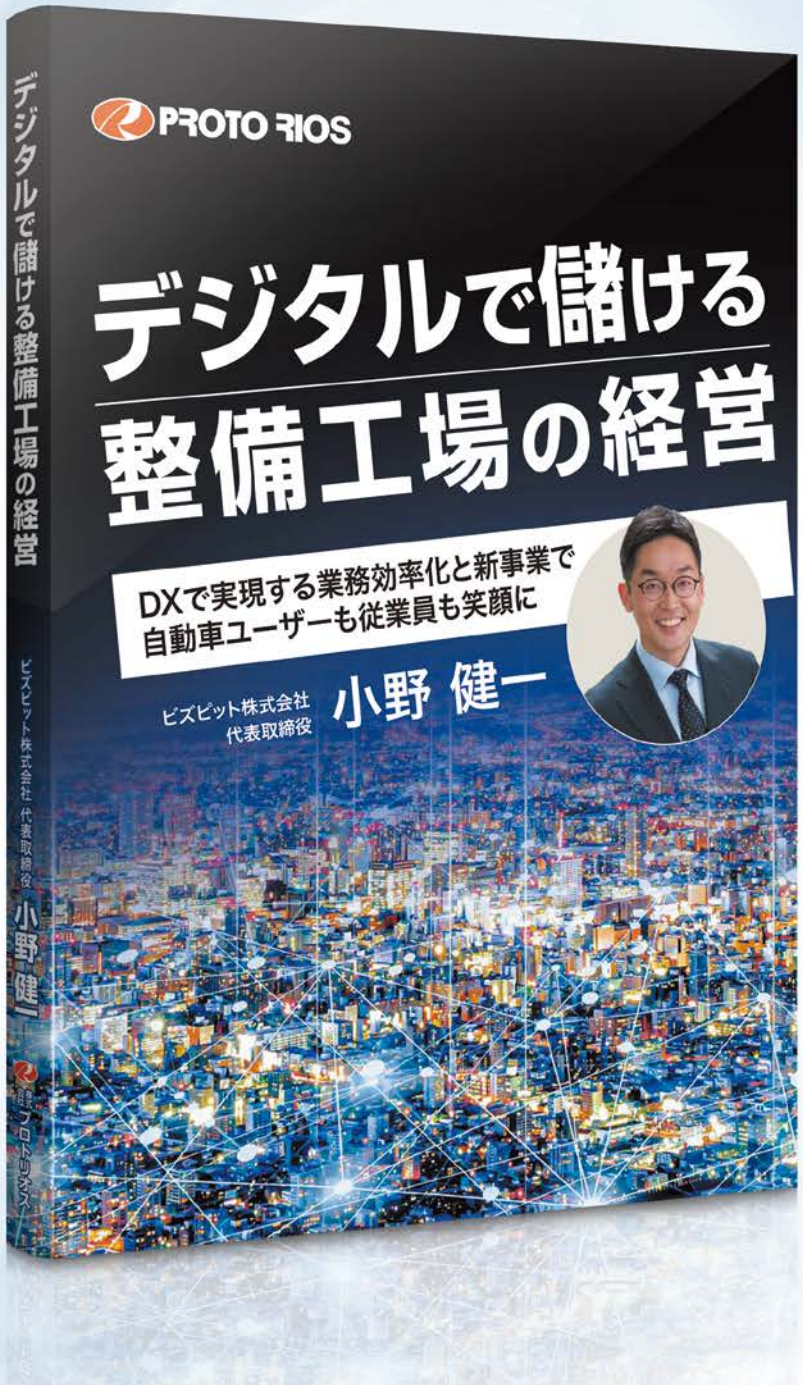
充実の車両診断ソフト

TPMシリーズで対応する国産乗用車メーカー8社、国産トラックメーカー4社、輸入車メーカー7社に加え、スーパーカーメーカー4社の診断ソフトを搭載しました。

株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2
TEL 058-246-1733　FAX 058-246-1736
URL : http://www.toolplanet.jp
E-mail : d_contact@toolplanet.co.jp

このままの経営ではいけない？
イマドキの整備工場を目指す方
必携の一冊!!



DX って何？ 今更聞けない経営のDXを解説

DX＝デジタルトランスフォーメーションとは、様々なデジタル技術を活用して業務プロセスを改革すること。
商品管理SNSやホームページを利用した集客。パソコンやインターネットを活用した顧客情報の管理や在庫管理、スケジュールの管理。これらもすべてDX。集めたデータをより高度に活用することで、効率良くサービス向上につなげて行くことが可能になります。

読みやすく分かりやすく！

他の解説書では専門用語が多くて頭に入ってこなかった、そんなことはありませんか？ 本書は初心者でも読みやすい、平易な文章で書かれています。また、なぜDXが必要なのか、整備業界の置かれた環境・背景から始めているため、スポンジに水が染み込むよう、スッと入っていくでしょう。

業界・時代に即したやり方を紹介！

イマドキの整備工場の経営ってどうやってるの？ たとえば整備工場なら、こんなやり方がなじむ！ ありそうでなかった業界に特化し、DXを活用し時代に即した自動車整備工場経営の方法やヒントを紹介します。

著者：**小野 健一**
ビズピット株式会社　代表取締役

2006年兵庫県立大学大学院を修了後、自動車部品メーカーで14年間、用品の企画から設計・販売まで一貫した事業開発を経験。2020年に自動車アフターマーケット向けの事業開発を行うビズピットを創業。幼少期の夢であった自動車整備業に特化し、自動運転システムに関する事業開発業務の受託、そこから得られる業界動向をもとに自動車整備工場向け事業の開発、顧問での経営支援等を行う。

デジタルで儲ける整備工場の経営

～DXで実現する業務効率化と新事業で自動車ユーザーも従業員も笑顔に～

定価 **3,080円**（税込・送料込）

A5判 184ページ

［ お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。］

PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

［ホームページ］
https://www.proto-rios.co.jp

［BSRWeb］
https://bsrweb.jp/

〒541-0046　大阪市中央区平野町 2-3-7　TEL.06-6227-5661　FAX.06-6227-5664